

2018-11 (No 103・HQ)

NEW

アストロ・インフォメーション



2018.10.21冬の天の川と黄道光
久住高原にて

☆☆ 冬の天の川と黄道光 ☆☆
撮影：山本 幸司 (大分県大分市)
撮影日時 2018/10/21



大分天文協会

Astronomical Society of Oita

表紙コメント

画面中央右にオリオン座が見えますがその左(画面中央)には冬の天の川が垂直方向に雲の帯のように見えています。左下から斜め右上に伸びる光は黄道光(こうどうこう)と言います。黄道光とは、地球上の黄道(見かけ上、太陽の通る道)に広がった塵(ちり)が、太陽の光を反射して見える現象です。天の川よりも淡いため、都市部では光害のために見ることはほとんどできませんが、星見の適地: 久住高原は空気の澄んだ時によく見ることができます。 山本 幸司

～～目次～～

例会	01-02	例会報告
協会ニュース	03	内那さん281、282個目のSOHO新彗星発見 番号確定
	04	津田剛さんの天文気象予想 切り番600号
会友	05	関東天文協会天文台通信154号受領
観望会	05	わくわくえすっ子塾「江津湖でお月見会」開催!
	06-08	青少年のための科学の祭典大分大会2018
	08-09	第四回・四季の星空観測会
	10	大洲市観望会報告と、会員の皆さまへの御礼
個人観測報告	10	今シーズン火星スケッチまとめ
懇談会	11	田中千秋顧問を囲む会
未報告画像から	11	Facebook友の会より
募集記録	12	全国天文愛好者交流会高松大会 JAAA2018のご案内
	12	トークショー「椅子のお話」
天体写真集	13-25	報告画像ギャラリー
会誌	26	アストロインフォメーション バックナンバーのご案内
	26	NEWアストロ・インフォメーション印刷時のエラーについて



編集部便り

天候がすくれない秋なのにみなさん御活躍ですね!(編集も含めて) 想像以上に報告数が多く編集に手間取りました。さて今号のこのコーナーは編集のノンフィクションエッセイです。

君にはその星が見えるのか

一世を風靡した世紀末を舞台とした拳法家が主人公の漫画とは一切関係がなく、我が家のささやかな光景です。最近では長女がスマホばかりをいじって勉強にならない、なんてことがないように見張り役、兼、家庭教師として、大分市の大学に通う次男がちょくちょく帰ってきます。そんな夜は次男が自分のアパートに向けて出発するまで僕も妻も起きていたのですがその夜は頭痛がするので仕事はしないでほ～～っとしていた僕を見て、眠ってしまわないようになにか動きを与えようと思ったのか、2階のベランダから見える海の上の光、あれが何か知りたいと妻が言いました。昼間も双眼鏡で見たいのですが使い方がよくわからない、と。そこで我が家にある最大の双眼鏡10×77をベランダにセットしてみました。この口径ともなると23時30頃というこの暗闇の中でも光源の足元に打ち寄せる波までよく見えるのですが、さすがにその灯台がどこなのか(陸地との関係は?)まではわかりませんでした。

僕の趣味とは全然噛み合わず星空に興味を示すことなどほとんどなかった妻ですが、2001年のしし座大流星雨は眠っているところをたたき起して、一緒に見ました。そのときからすこしずつ風向きが変わりはじめ、最近では少し星の趣味にも付き合ってくれるようになりました。ここはチャンスと、そのまま双眼鏡ですばるやオリオン星雲を見せアンドロメダも見せるかなど導入中のこと。なんとその双眼鏡の中を流星が!!・・・は、今回の本題ではなく(^_^)

アンドロメダのある天頂からカシオペアにかけてを見ていた妻が、あそこに真っ赤な星があるねえ～～と言いました。今年は火星の接近もあったりしたものですから、そんな明るい真っ赤な星をイメージしましたがそんな方向にアンタレスもベテルギウスもありません。「夏の大三角のデネブはあるけどそれは赤くなくて白っぽいよね」

「そんなに明るい星じゃなくて・・・」

Σ(° ⅀ °) 夏の大三角の星の明るさの意味がわかるようになったのか!ということだけで十分驚きに値しますが・・・しばし考えましたが、そういえばこの方向に赤い星があるにはあるぞ。「カシオペアわかるよね、今はよく言われるWじゃなくてMに見えるけど」「どれがそう?・・・あ、わかった、そこからこっち(西)の下の方」ふむ、まさかとは思いましたが、思いついた赤い星がある方角です。でも街灯りの明るい空に埋もれて、僕には、そこにあると思えばこそその心眼を総動員して、やっとわかるかわからないくらい・・・アンドロメダ導入は途中で止めて、その星を視野に入れます。「これがたぶんそう」「そうそう、これ、この色!」「ケフェウス座のガーネットスターって名前、赤色巨星だね」「ああ、宝石のガーネット??赤いちゃんね」僕の眼には見えているように見えていないガーネットスターが、そんなに真っ赤な星がある!という勢いで見えていたんですね。一般に女性の方が圧倒的に男性より色彩感覚が優れている、とは言えますけれど。「次男も運転中に流れ星みたって言ってたし、あなたも双眼鏡で流星見だし、わたしだけ見てな～～い」と文句を言いながら室内に戻ってゆきました。階下に降りて、ケフェウス・カシオペア・アンドロメダ・ペルセウス・くじらが登場する神話を語ったら、「複雑・・・」ですって。「すごくシンプルじゃん・・・」「いやカタカナでなじみがないのに名前が長すぎる」じゃあ、名前を短くしたらわかってくれるのかな??「ケ」と「カ」は夫婦で、「カ」が美貌を自慢しすぎたために神の怒りを買った娘の「ア」がいけにえに差し出されて、鯨に食われそうになったところを「ペ」さんが助けて二人は結婚したの。まさにちょうどそのタイミングでテレビでやっていたバラエティ番組のBGMに「冬のソナタ」のテーマが流れました・・・こちらが思うほど向こうの記憶にはとどまっていなくてささやかな出来事ですが、僕には楽しい思い出となったのでした。

編集: 2019年01/15

掲載画像 インフォメーション (NO.4684) から
インフォメーション (NO.4777) まで

大分天文協会事務局

〒870-0924 大分市牧3-13-30

TEL: 097-556-9565 FAX: 097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>

編集者: 藤吉健児

発行責任者: 山本幸司(会長)

記事内容などに質問・ご意見有るときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

November 11 2018

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 文化の日
4	5	6	7 00:32 水星が東方最大離角	8	9	10
11	12	13	14	15 月面X	16	17
18 8時 しし座流星群極大	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24
25	26	27	28	29	30	

- 11月2日・・・おうし座χ流星群
- 11月4(5)日・・・りゅう座入南流星群
- 11月5日・・・とも座ρ流星群
- 11月6日・・・おうし座南流星群
- 11月6日・・・おうし座北流星群
- 11月7日・・・おおぐま座κ流星群
- 11月10日・・・エリダヌス座δ流星群
- 11月12日・・・おうし座流星群北群
- 11月13日・・・とも座ζ流星群
- 11月14日・・・アンドロメダ座流星群
- 11月17日・・・しし座流星群(おすすめ)
- 11月17日・・・エリダヌス座ο流星群
- 11月19日・・・11月ぎょしゃ座θ流星群
- 11月22(21)日・・・いっかくじゅう座α流星群
- 11月27日・・・11月オリオン座流星群

December 12 2018

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 金星が最大光度 -4.7等 13:28	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 46Pウィルタネン彗星 近日点	14 21時 ふたご座流星群極大	15 水星 西方最大離角 20:49
16 はくちょう座X 極大光度	17	18 くじら座ミラ 極大光度	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	29
30	31	(12月17+3=20個)				

- 12月2日・・・12月りゅう座κ流星群
- 12月2日・・・オリオン座χ流星群
- 12月4日・・・12月カンオベヤ座φ流星群
- 12月5(6)日・・・ほうおう座流星群
- 12月5日・・・おおぐま座ψ流星群
- 12月9日・・・いっかくじゅう座流星群
- 12月9日・・・うみへび座η流星群
- 12月9日・・・12月りゅう座α流星群
- 12月9日・・・12月おとめ座χ流星群
- 12月12日・・・オリオン座χ南流星群
- 12月12日・・・とも座・ほ座流星群
- 12月13日・・・12月いっかくじゅう座流星群
- 12月14日・・・ふたご座流星群(超おすすめ)
- 12月17(12)日・・・うみへび座σ流星群
- 12月19日・・・12月おとめ座σ流星群
- 12月21日・・・やまねこ座α流星群
- 12月23(22)日・・・こぐま座流星群(おすすめ)
- 12月26(20)日・・・かみのけ座流星群
- 12月27日・・・へび座ω流星群
- 12月27日・・・へび座σ流星群

2018.11.07大分天文協会11月例会集合写真



☆☆ 大分天文協会2018年11月例会開催されました ☆☆
2018年度11月の月例会が無事開催されました。
参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
日時：11月07日（第一水曜日） 19時より
場所：コンパルホール地下1階団体活動室
参加者（14名）順不同です：
村上・阿部・井餘田・岩田・田崎・多田・足立・
石井・津田・湊・丸野・山本夫妻・奈須

主な内容

(1) 10月の活動報告

- 10月03日(水) 例会 <コンパル団活>
・・・12名参加で開催されました、お疲れ様です。
- 10月06日(土) 月例観測会(月齢26.4) 香りの森駐車場(予定)
- 10月14日(日)「青少年のための科学の祭典大分大会2018」
津久見市民会館 約500名参加盛会でした！
参加者(7名)：
山本・丸野・太田親子・吉野夫妻・阿部
- 10月20日(土)「久住高原星空の巡り」<じゅう花園にて(予定)>

- 10月21日(日)第四回・四季の星空観測 野津原中部小学校
・・・担当：丸野さん 応援：奈須・山本
快星の元、約25名参加無事開催されました！
- 10月22日(月) 愛媛県大洲市観望会・・・無事開催されました。
担当：兵頭さん お疲れさまでした。
- 10月27日(土)～28日(日)全国天文愛好者交流会
香川大学教育学部

(2) 10月以降の活動計画

- ◆印は、応援募集中です！！！！
- 【11月】
- 11月05日(月) 田中顧問を囲む会
・・・6名参加で楽しく開催されました
- 11月07日(水) 例会 <コンパル団活>
・・・名参加で開催されました
- 11月17日(土) 月例観測会(月齢2)<香りの森駐車場>(予定)
- ◆11月17日(土) 第五回・四季の星空観測 野津原中部小学校
18:00～
・・・担当：丸野さん・応援募集
- ◆11月17日(土)「久住高原星空の巡り」<じゅう花園にて>
・・・講演担当：山本夫婦
- 【12月】
- 12月1日(土) ウィルタネン彗星観望会<香りの森駐車場>(予定)
- ◆12月1日(土)～2日(日)天文教育普及研究会の九州支部会
記念講演会12/1 13:00より
- 12月5日(水) 例会 <コンパル団活>
- 12月8日(土) ウィルタネン彗星観望会<香りの森駐車場>(予定)
- ◆12月8日(土) 第六回・四季の星空観測 野津原中部小学校
18:00～・・・担当：丸野さん・応援募集
- ◆12月9日(日) 忘年会&勉強会 12:30～16:30
野津原公民館・1F調理室実習室
- 12月14日(金) ふたご座流星群(月齢6.8)<香りの森駐車場>(予定)
- ◆12月15日(土)「久住高原星空の巡り」<じゅう花園にて>
・・・講演担当：山本夫婦
- ◆12月15日(土)「JAXAの春山先生講演会」
熊本博物館のプラネタリウムホール

(3) 科学講演会などの紹介

(3-1) 「天文教育普及研究会・講演会のお知らせ」

天文教育普及研究会九州支部会での講演です。折角の機会なので、できれば多くの方にも聴講いただきたいと思います。
「宇宙の音を聞く天文学ー重力波天文学ーの始まり」
端山和大先生(福岡大学理学部)
2016年に初検出の報告がなされ、発見を主導した研究者がその翌年だけにノーベル物理学賞に輝くという話題の重力波。その重力波による天文学についてわかりやすくお話しいただきます。

日時：2018年12月1日(土) 午後1時より
(なお、講演終了後の午後3時より天文教育普及研究会九州支部会を開催しますが、これへの参加も自由です)
場所：大分大学教育学部3階 303号教室にて
参加申込不要、無料
連絡先：仲野誠(大分大学理工学部)
TEL: 097-554-7572, E-mail: mnakano@oita-u.ac.jp
主催：天文教育普及研究会九州支部



3-2) 「JAXAの春山先生講演会」

日時：2018年12月15日(土) 午後(詳細未定)
場所：熊本博物館のプラネタリウムホール

春山先生は昨年、月の地下空洞発見のニュースでご存知の方も多いと思います。めったにない機会ですので関心ある方は熊本まで遠征をしましょう！詳細は決まり次第教えてくれるそうです。なお、翌12/2は宮崎市科学技術館で同じく春山先生を招いてのサイエンスカフェが開催されるそうです。

熊本の吉田と申します。突然ですが、12月の催し物@熊本のご紹介です。震災前から改装等のため閉館しておりました熊本市立博物館ですが、震災ダメージも癒え、この12/1よりリニューアルオープンとなります。その熊本市立博物館での最初の特別講演として、昨年「月面の地下空洞」の発見で一躍話題となりました、JAXAの春山純一先生にご講演をいただくこととなりました。詳細は以下の通りです。

日時：12月15日(土) 15:00~16:30(開場14:45)
場所：熊本市立博物館 プラネタリウム室
(定員：170名)
演題：日本の月探査
SELENE(かぐや)計画からUZUME計画へ
演者：JAXA 春山純一先生
費用：無料(博物館入館料のみ)

春山先生のHPはこちら。
http://planetb.sci.isas.ac.jp/Haruyama_HP/index.html

開催場所は熊本ですが、ぜひ近県の皆様にも来ていただければと考え、こちらにご案内する次第です。なかなかこちらに来ていただくことはないので、貴重な機会です。夜は先生の歓迎会も予定しています。今後も追々詳細についてはこちらでご紹介していきます。

(4) 会報などの紹介

今月も友好団体から立派な活動の会誌などを頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

- ・星屑 NO. 524 熊本県民天文台
- ・天界 2018年10月(第1121号) 東亜天文学会
奈須さん7/17撮影火球の写りが表紙に採用！
おめでとうございます。
- ・天界 2018年11月(第1122号)



(5) 香川県から多田さんまたまた参加！！

11/5の田中顧問を囲む会にも参加してくれた香川県在住の会員の多田さんが例会にも参加してくれました。例会終了後、高松まで帰る途中でそのアクティブさにはいつもながら驚かされます。例会に来てもいつもニコニコ、楽しい会話！時には厳しい指導(記念写真の時に皆直立不動ばかりで面白くない、もっとポーズ取りなさいと！(笑)・・・確かにその通りで練習しましたが、なんともし合わないというか、まだまだ練習がいるみたいですね。(笑) 全国各地の星まつりイベントなどに参加したお話は楽しかったです！

(6) 会誌「NEWアストロインフォメーション」発行報告

10月は、NEWアストロインフォメーションNo.102号を発行いたしました。102号は9月の悪天続きにも拘わらず、会員皆さんの多数の観測報告があり、全20ページと充実した内容です。おかげで、ますます見ごたえある会誌となりました。観測投稿した会員の皆さんと藤吉編集長に感謝です。

(7) 講話「県立図書館過去新聞記事紹介・Ⅲ」：津田さん

津田さんの、大分県立図書館過去新聞記事紹介その3回目です。気象などについても図書館に通い詰めて調べる勉強家の津田さん。調べるのは意外と大変で忍耐と神経をすり減らすくらい疲れるそうです。色々教えていただけるのはうれしいですが体調考えて無理しないでくださいね！！！！今回の講話テーマは以下でした。

- ①大分の過去(1887-1965)の雨天日の確立表
やはり12・1月は雨天日が少ないですね！！！！
- ②昭和29年12月12日の大分合同新聞の記事
「月の新火口丘を発見」との見出しで
当時大分の上野丘高校2年生の佐藤健氏が
観測で表記の発見をしたとの記事です。



(8) 断捨離天文雑誌：丸野さん

丸野さんから、古い天文雑誌を要りませんか？との申し出がありました。一部を例会に持ってきてくれました。2000年より前の「月間天文」です。廃刊になって久しいので懐かしいな！！！！という声が上がっていて皆さん手に取って、当時の写真や広告を見ていました。



そんな中、文理大学のI井さんが一言・・・
「この雑誌、私の生まれた年・月の号です」と！
えっ？何年？？？？見てみると1998年3月号・・・お若いのね！！！！(笑)還暦すぎのおじさんのぼやきが聞こえました((´▽`))ケラケラこのように古い雑誌を見ていくと色々な話題で盛り上がりそうです。ご希望の方は丸野さんまで連絡してください！！！！

(9) 観測報告

皆さんの観測報告がありました。足立さんの撮影の苦労(結露)！阿部さんの望遠鏡のメンテナンス秘話！井餘田さんの観測帰り道での動物との衝突、また、山本からH-II B40号機打ち上げの画像やイリジウムフレアが火星に接近した観測画像を報告させていただきました。

(10) お土産・プレゼント

多田さんから何時ものお菓子の差し入れがありました
ありがとうございます！！！！



(11) 「今月のオークション」コーナー 「南限ギリギリ天体観測&天文気象講座」 「画像処理セミナー」

・・・今月はお休みでした。

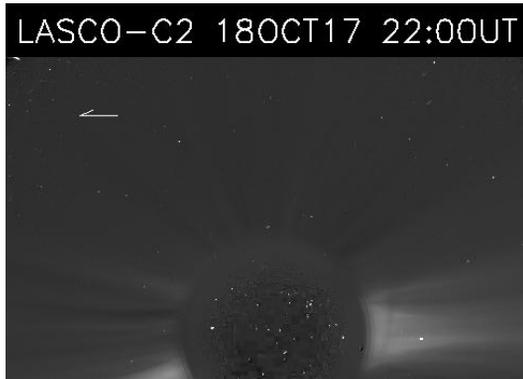


内那さん281個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが281個目のSOHO新彗星を発見しました！！
 本当におめでとうございます！
 そして、お疲れ様です！

事務局

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C2B/W画像の、2018/10/17、22h00m~22h12mの2枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。非常に淡く暗い彗星です。
 22h00mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=69、Y=103、(512X512、Upper Left)、SOHO彗星は今年24個目、通算では281個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)
 I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2B/W images of Oct/17/2018.



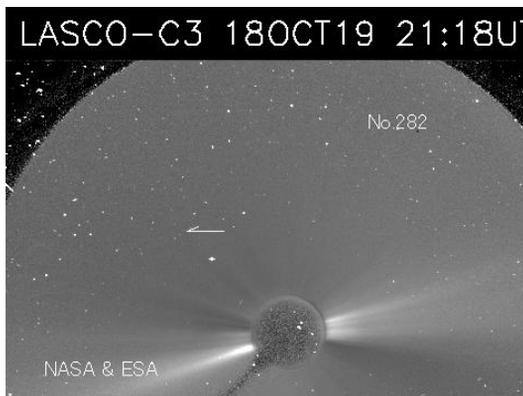
20181019配信 No4724 内那 政憲

内那さん282個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが281個目のSOHO新彗星を発見しました！！
 本当におめでとうございます！
 そして、お疲れ様です！

事務局

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、LASCO-C3B/W画像の、2018/10/19、21h18m~21h54mの4枚の画像から、Kreutz(クロイツ)群の彗星を発見しました。
 21h18mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=163、Y=204、(512X512、Upper Left)、SOHO彗星は今年25個目、通算では282個目の彗星となりました。(ほかに2個のSTEREO彗星の発見があります)



この彗星は、タイのWorachate Boonplodも、LASCO-C3画像から独立に発見し、私は、彼の通報に8秒遅れて報告しました。彼の通報から15秒以内の通報ですので、私も同時発見者としての権利を与えられることとなります。
 I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C3B/W images of Oct/19/2018.

20181020配信 No4730 内那 政憲

SOHO彗星の確定番号

内那さんからSOHO彗星の確定番号発表の情報が届きました、ありがとうございます。
 本当におめでとうございます！
 そして、お疲れ様です！

事務局

お世話になります。
 SOHO彗星の確定番号が発表されましたので報告させていただきます。

アメリカ海軍研究所のKarl Battams氏は、2018年8月~9月に発見されたSOHO彗星の確定番号を発表しましたが、私が発見したMeyer群彗星(SOHO-3584)とKreutz(クロイツ)群彗星(SOHO-3587、SOHO-3597)も含まれています。

20181023配信 No4739 内那 政憲

無題
 アメリカ海軍研究所のKarl Battams氏は、2018年8月~9月に発見されたSOHO彗星の確定番号を発表しましたが、私が発見したMeyer群彗星(SOHO-3584)とKreutz(クロイツ)群彗星(SOHO-3587、SOHO-3597)も含まれています。

Here's the corrected August, and September, confirmations:

SOHO#	Date/Time of Post	Discoverer	Tel	Group	Images of...
3582	Aug01 18 03:30:10	W. Boonplod	C3	Kreutz	Jul31-Aug01, 18
3583	Aug11 18 08:16:14	R. Kracht	C2	Marsden	Aug09, 18
3584	Aug12 18 10:17:20	W. Uchima	C2	Meyer	Aug09, 18
3585	Aug13 18 03:47:22	W. Boonplod	C3	Kreutz	Aug13, 18
3586	Aug19 18 04:29:00	W. Boonplod	C3	Kreutz	Aug19, 18
3587	Aug24 18 17:22:30	W. Uchima	C3	Kreutz	Aug24, 18
3588	Aug25 18 12:08:28	Z. Xu	C3	Kreutz	Aug28, 18
3589	Aug29 18 06:48:23	W. Boonplod	C3	Kreutz	Aug29, 18
3590	Aug29 18 06:55:10	W. Boonplod	C3	Kreutz	Aug29, 18
3591	Aug29 18 07:01:13	W. Boonplod	C3	Kreutz	Aug29, 18
3592*	Jun20 14 20:12:02	T. Prestgard	C3, HIA	Kreutz	Feb21, 14
3593	Sep01 18 05:28:35	W. Boonplod	C3	Kreutz	Sep01, 18
3594	Sep02 18 17:36:55	W. Boonplod	C3	Kreutz	Sep02, 18
3595	Sep03 18 17:24:37	W. Boonplod	C3	Kreutz	Sep03, 18
3596	Sep05 18 12:18:56	Z. Xu	C3	Kreutz	Sep05, 18
3597	Sep08 18 20:34:36	W. Uchima	C3	Kreutz	Sep08-09, 18
3598	Sep12 18 02:45:00	Z. Xu	C3, C2	Kreutz	Sep11-12, 18
3599	Sep14 18 19:40:00	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep14-15, 18
3600	Sep16 18 06:17:03	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep16, 18
3601	Sep19 18 13:15:39	Z. Xu	C3, C2	Kreutz	Sep19-20, 18
3602	Sep21 18 06:27:03	W. Boonplod	C3	Kreutz	Sep21, 18
3603	Sep21 18 07:00:01	W. Boonplod	C3	Kreutz	Sep21, 18
3604	Sep22 18 19:57:55	W. Boonplod	C2	NonGrp	Sep22-23, 18
3605	Sep22 18 19:00:37	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep26, 18
3606	Sep24 18 08:23:15	W. Boonplod	C2	Meyer	Sep24, 18
3607	Sep24 18 20:20:49	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep24-25, 18
3608	Sep25 18 09:32:02	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep26, 18
3609	Sep29 18 07:29:37	W. Boonplod	C2	Meyer	Sep29, 18
3610	Sep29 18 17:11:55	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep29-30, 18
3611	Sep30 18 06:28:18	W. Boonplod	C3, C2	Kreutz	Sep30, 18

* = SOHOHunter (MSG #4479)

Congratulations to Worachate for finding SOHO-3600! Yet another great milestone for the SOHO mission and Sungrazer Project! Two weeks ago it was exactly 15-years since I took control of the Project. At the time I think there were around 650 comets. When we reached 1,000 it was amazing, and even more so when we hit 2,000 a few years later. I honestly did not expect SOHO to keep lasting like this but it has, and thanks to the efforts of all of you and so many others, we keep making history with all these comet discoveries. No one can predict SOHO's future but the spacecraft is quite healthy, so maybe it's not too soon to begin considering SOHO-4000...?!

Best wishes,
 Karl

ページ(1)

津田さんから、大分地方天体観測用天気予想第600号が届きました、ありがとうございます。
切版600号おめでとうございます、そしてご苦労様です！！！！
2017.02.02の「津田さんの天気予想・1」配信から600号にもなったのは本当にすごいですね！津田さんの気象情報は会員の皆さんも観測の情報に大いに役立っていますからとても感謝ですね！これからも無理ない範囲でよろしくお願いたします。
事務局

毎日届く天文気象予想ですが、毎回は掲載できず申し訳なく思っています。せめて切り番だけでも、と思い、今回は全文掲載させていただきます。
編集部

天文気象予想第600号をお届けします

(天文)

宇宙からやってきた「生命の元」をハワイ大学が調査中

生命の重要な構成要素であるリン酸塩は宇宙から来たようだ——。リン酸塩が、地球の誕生当初からあったものなのか、隕石や彗星によってもたらされたものなのかは、大きな議論となっている。しかし、ハワイ大学マノア校の研究チームが発表した論文が、リン酸塩が宇宙で生成され、地球誕生後10億年以内に隕石によって地球にもたらされたことを示す有力な証拠を示している。

リン酸塩とニリン酸は分子生物学において不可欠な2大要素だ。遺伝子情報を含む染色体の主要な構成要素であり、リン酸塩とニリン酸がないと自己複製ができなくなる。「リン酸塩は地球上では生命にとって有害な物質だ」と論文の筆頭著者のAndrew Turnerは英科学誌「Nature Communications」で発表した声明の中で述べている。「しかし、星間媒質においては、ホスフィン(リン酸塩)が生体関連分子の形成が始まるような、稀な化学反応経路を促す。それが、生命の分子進化を引き起こす可能性がある」

研究チームは、華氏-450度(摂氏で約-270度)の超真空チャンバーの中で二酸化炭素と水で覆われた星間に存在する氷粒子を再現し、その粒子を宇宙線のようなイオン化放射線にさらしたところ、複数のオキシ酸としてのリン酸が形成されたという。

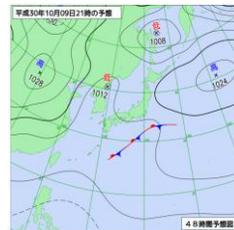
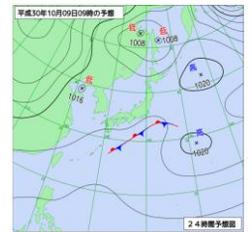
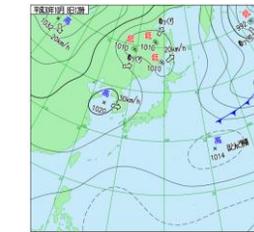
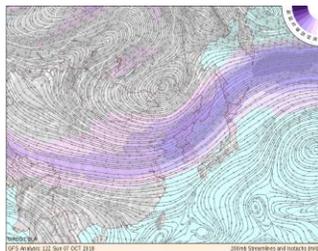
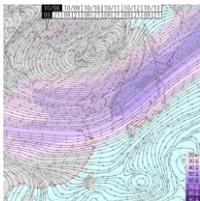
「レーザーによる高度な分析と、質量分析計やガスクロマトグラフ質量分析計を駆使して行った実験で、検出されたオキシ酸としてのリン酸から、ホスフィンに由来するリン原料が発見された、チュリユモフ・グラシメンコ 彗星のような彗星の氷の中で形成された可能性がある」とハワイ大学マノア校のRalf Kaiser教授は述べた。これが正しければリン酸塩は隕石によって地球だけでなく月など他の惑星にもたらされていると考えられる。

「彗星には太陽系を形成した原始惑星円盤の材料の残余物が、少なくとも少量は含まれているため、星間に存在するホスフィンを保持した氷を含む星間媒質とひもつけられる可能性がある」とニース・ソフィア・アンティボリス大学のCornelia Meinertが述べた。

リン酸塩のような物質がどのように形成されたかを研究することは、生命の誕生を解明することや、地球外生命体を探すことに寄与する。

体育の日って晴れやすいの？

「体育の日」は、1964年に日本で初めて開催された東京五輪を記念し、1966年に「スポーツに親しみ、健康な心身を培う日」として制定された国民の祝日で、もともとは東京五輪の開会式が行われた10月10日でした。晴れの特異日(特異日:1年のうち前後の日と比べ、ある特定の天気が見れやすい日)ではありませんが、過去の統計により、秋の長雨が終わる頃を見込んで、晴れる確率が高くて土曜日にあたる10月10日が開会式に選ばれたと言われています。2000年からは「ハッピーマンデー制度」が適用され、10月の第2月曜日になりました。調べてみたら2000年以降、体育の日の正午に東京都心で晴れていた割合は約56%。正午に雲に覆われていた割合は約44%で、極端な偏りはありませんでしたが、2008年から去年までの10年間、正午に晴れていた割合が8割でした。今年の体育の日は全国的にも晴れる見込みで、スポーツの秋を堪能するにもよさそうですね。



(気象)

気温が下がって晴れる日が多くなる10月になると、行楽したくなる人も多いと思います。あるテーマパークでは「ガンマ・ボアソン・リーセンサー・モデル」という手法を使用して調査が行われた結果、もともと集客が最大であった10月に最も需要の伸びしろがあると判断され、実際に更に集客が多くなったそうです(出典:森岡毅著「USJを劇的に変えた、たった1つの考え方」、森岡毅・今西聖貴共著「確率思考の戦略論」)。

そこで気になるのが、天気と、今年発生が多い台風の動向です。

【天気:週の中頃は雨も 行楽は日曜日がおすすめ】

明日火曜日は北日本を中心に、今週水曜日から日曜日は全国的に雲の広がりやすく雨が降る日もあるでしょう。次の土・日曜日を比べると、日曜日の方が晴れる確率が高いでしょう。また、来週の前半も雨の日が多くなる見込みです。

【台風:今のところ台風・熱帯低気圧なし】

現在台風は発生しておらず、台風の元になる熱帯低気圧も日本の近くにはありません。そのため現在心配すべき台風や熱帯低気圧はありませんが、今後の発生もあり得るため最新の情報は留意してください。

(気象予報士・甲斐 友貴)

(以下津田です)

ついに600号を迎えることが、できました。私の間違いだらけの予報に聞いて下さいましてありがとうございます。まずはお礼申し上げます。

良い天気が続きます。何とか500号を迎えることが出来ました。ありがとうございます。台風が過ぎてから、天気が良い状態です。今夜は全県70、ますますです。

明日は黄海にある低気圧の影響を受けそう。全県20を考えています。

気流の影響ありです。まだ大したことは無いでしょう。

pmは北部、西部はやや多い。中部はやや少ない南部は少ないの予想です。

津田 剛

「関東天文協会天文台通信154号」受領いたしました

大分天文協会顧問の田中千秋さんから「関東天文協会の天文台通信154号」が届きましたのでご紹介いたします。何時もありがとうございます。

P.S. 神津牧場天文台のHPは以下だそうです、皆さん是非ご覧ください。

<http://kouzu-obs.jp/>

事務局



御報告
 元氣よく空気で秋夜観望シーズの幕を閉じました。会員みなさまにおかれましては各人のテーマに基づく天体観測や天文活動を行っていることと思います。さて、天文台の修繕に向けた作業が進んでいます。ひとつは、扉の修理及び壁紙の取替ですが、暑から修繕の進捗が遅くなったことにより、修繕費がアップしました。併せて、観望設備の修繕も完成して快適な天体観測が可観となっています。今回、11月22日の観望作業により修繕も収束済みですが、予期せぬことが、突如として発生する可能性があります。この日は曇り雨に修繕も入っていたものと思われるものがありますが、11月17日の観望会では必要があればお祈りをお願いいたします。なお、今年以降は観望、観望作業として開催いたしますので、ご参加ください。今年最後の観望会は、11月17日(土)の観望会と同日に行われる一般観望会です。ぜひ参加してくださいと思います。会長 池田一
 よろしくお祈ります。

関係各位
 お世話になっています。お元気で過ごしてでしょうか。さて、添付ファイルのとおり神津牧場天文台の天文台通信154号ができあがりまして、お送りします。よろしくお取り計らいください。

20181025配信 No4744

田中 千秋

わくわくえずっ子塾「江津湖でお月見会」開催！

川端さんから、10/13に熊本市の江津湖で開催されたお月見会の報告が届きました、ありがとうございます！お団子作りなどもされたんですね、楽しそうですね！管理していただいている大型双眼鏡も大活躍ですね。熊本星の会の皆さまお疲れさまでした。

事務局

20181014配信 No4708

川端 孝幸



わくわくえずっ子塾「江津湖でお月見会」開催！

好天に恵まれ、事前に申し込みされた約20組の親子で賑わいました。

講師は熊本博物館の野村美月さん、望遠鏡支援は熊本星の会、吉田氏、坂田氏と当方夫婦の4名。

月、木星、土星、火星と堪能して頂きました。

前は雨だったので、リベンジ出来て万々歳でした(^^)

観測後はお団子作り。

特性オリジナルバッジのお土産に大喜びの皆さんでした。(画像は当方から提供)

熊本からのご報告でした(^^)



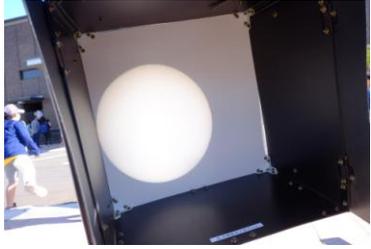
日 時 10月14日(日) 10:00~16:30
 集 合 08:30
 開会式 09:45~
 会 場 津久見市民会館
 参加者 山本・丸野・太田親子・吉野夫妻・阿部(7名)
 ・・・・暑い中丸一日お疲れさまでした! **事務局**

20181014配信 No4713 山本 幸司

津久見市の津久見市民会館で恒例の科学の祭典が有り大分天文協会も、恒例の「太陽の黒点観測」で出展しました。丸野さん、太田さん親子、吉野夫婦、阿部さん、山本の7名で参加協力しました、お疲れ様でした。詳細は、青少年科学館を作る会のMM203で配信していますので全体の開催写真などはそちらをご覧ください。このインフォメーションでは、天文協会ブースの写真を掲載します。

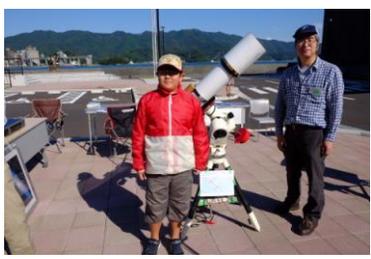


太陽の黒点は、ここ数年減少していて本日も、小さな小さな黒点の一つだけ見えただけでした。(観測対象変えないといけなかな??) 太陽観測は、丸野氏の改良型太陽投影BOXと山本のPSTの2台でした。丸野氏の改良型と言うのは、昨年の大分大会の時、投影BOXに子供が頭を突っ込むというヒヤリとしたことがありましたので、そのようなことが起こりにくいようにさらに改造されていました、ご苦労さまです。また、投影望遠鏡も2台から1台に減らして、さらに吉野さん阿部さんも参加していただき解説・監視スタッフを増やして安全に配慮しました。PSTも黒点もプロミネンスも見えず活躍の場がなかったですが太田氏が、太陽に近い超細月型の金星を15センチ屈折で導入し青空に透き通るような白い細い金星を見てもらうことができました。太田さんナイスでした!!!!



太陽観測の横では、天体写真を並べ吉野夫人をはじめスタッフが解説を行いました。

快晴の午前中でしたが、午後から薄雲が時間とともに増えだし金星の観測は困難になってきました、さらに雲が増え太陽の観測も難しくなってきましたので、海辺の会場から見える対岸の島に止まっている鳥の群れ(野鳥のエキスパートの吉野氏によると、ダイサギ・チュウサギ・アオサギ)を望遠鏡で見てもらいました!!!!(笑) 望遠鏡の有効活用ですね!!



丸野さんから、科学の祭典の参加報告が届きました
 ありがとうございます！、そしてお疲れさまでした。
 今回は昨年の件を踏まえ、安全には今まで以上に配慮しました。
 丸野さんもいろいろ熟慮・工夫していただき助かりました。
 一番は人数を増やしてマンパワー（ウーマンパワー）で
 カバーすることですので、今回呼び掛けて
 例年以上に参加していただき感謝です。
 来年もぜひお願いします、今まで参加されていない方も
 是非お願いします、楽しいですよ！！！！

事務局

20181016配信 No4717 丸野 閑由

皆さまお疲れ様でした。科学の祭典での画像を数点送ります。
 恐竜や生き物と同じように宇宙への興味は子どもたちをわくわくさせる分野だと思います。科学館が近くにあればわくわくした興味も大きな関心へと脱皮することがあるでしょう。学校の理科の授業ではなかなか達成出来ない感動は体験を通じてしか味わえないと思います。科学の祭典で、各地に望遠鏡を持っていき、普段見たことのない天体を青少年に観測体験させることは天文趣味を小さな頃から持ち続けてきた私にとって、同じ楽しみ・感動を体験してもらいたいという思いで続けています。ある意味、天文という種を子どもたちに植え付け、いつか育っていくことを期待しながら自己満足的に活動を続けてきました。今年もその日がやってきました・・・

午前中は天気にも恵まれ活気にみなぎるブースであったと思います。すきあらば望遠鏡を覗こうとするやんちゃキッズの想定外な行動に対策を練って臨みました。

まず、文字と絵で太陽を直視することへの注意書きをあちこちに貼りつけました。文字はインパクトが無くあまり効果はありませんが、PL法と同じく不作為を問われることの回避になるので自己弁護の最低限の対策かと・・・

アイピースには直視防止用ガードを取り付けました。これはかなり効果的な対策と思います。最悪の事態に至ってもこのラップ状の防護ガードで難を逃れる効果があると考えます・・・

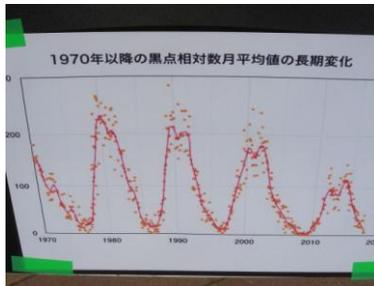
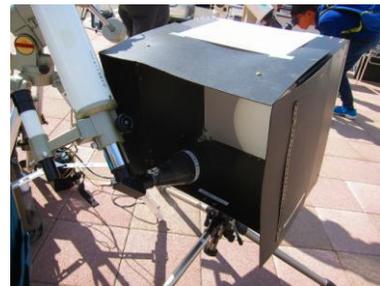
説明の前に一言「望遠鏡で太陽を覗くことは危ないので覗かないように」と声掛けをしました。念には念を入れようと思ったからです・・・

なるべく複数の人員で望遠鏡のそばから離れないようしました。人員を増やすことは皆で複数の目で注意を払い万全を期すよう心掛けました。

太陽観測以外でも、大きな機材を使っでの観察ではウエイトが落ちたり三脚クランプが緩んで機材が倒れたり、危険は色んな所に潜んでいるとも言えます。どんな観望会でも安全安心を心掛けお客さんに怪我が起きないよう心掛けていかねばと思っています。常日頃からの機材のメンテナンスをすることは、その意味でとても重要なことと思いを強くしています。一人で撮影したのちにネジが緩んで三脚が倒れた経験があるのでなおさらです。

さて、太田さんのグラフにあるように黒点はここ半年くらい静穏すぎる状態が続いていますし、減少傾向は今後もしばらく続くでしょう。祭典ブースは黒点中心から昼間でも星が見えます「昼間の星」コーナーも併設したらと思いました。金星や明るい恒星を大口径の望遠鏡で見せ太陽がいかに明るくて星の明かりをささぎっているかを知ってもらうのもいいかなと思いました。

星とたんぽぽ
 青いお空の底ふかく、海の小石のそのように、夜がくるまで沈んでる、昼のお星は眼に見えぬ。
 見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。
 (金子 みすゞ)



丸野さんから、科学の祭典の参加報告の番外編が届きました
ありがとうございます！、そしてお疲れさまでした。
午後から雲が多くなり、野鳥の会的観望で楽しめました。
太田さんの大型屈折望遠鏡で見た野鳥はなかなかです！(笑)
事務局

20181016配信 No4718 丸野 閑由

科学の祭典での番外編を忘れていました。

午後はドン曇りの空になりましたので太陽望遠鏡にはキャップをかぶせ、アンドロメダ銀河のある方向の望遠鏡は空ではなく海
の方向へ筒先を向けて海上に見えた「しらさぎ星雲」を楽しみました。

15cm屈折の対物側を覗くとそこにもうっすらとフェイスオン夜露銀河らしきものも発見しました。



第四回・四季の星空観測会

丸野さんから、10/7に延期になっていた
四季の星空観測の再延期の連絡が届きました
ありがとうございます。
台風などで予定がくるって大変ですね、ご苦労さまです。
10/21の応援どなたかお願いいたします。
事務局

20181006配信 No4586 丸野 閑由

お世話になります。お知らせです。

中部小学校跡地で予定されていた四季の星空観測が9月7日
が延期されて10月7日(日)予定でしたが、台風のために10月
21日(日)に再延期となりました。来られるようでしたら、10
月21日 18時からですのでよろしく願いいたします。 7日
は晴れるかもしれませんが、色んな都合が重なり再延期です。た
びたび変わって申し訳ありません。太田さん、また来られるよう
でしたら、お願いいたします。

添付の画像は9月27日の火星の画像です。取り回しの良い
シュミカセを使ってのやつつけ撮影でしたが上空には風があった
ようでシーイングが悪く、良い画像が得られませんでした。



2018年10月21日(日) 第四回・四季の星空観測 (野津原中部小
学校) 快星の元、約25名参加無事開催されました！担当の丸野
さん 応援の奈須・山本さんお疲れさまでした！！観測準備終了時
点で記念写真を撮ってましたので追加しておきます(奈須さんは
写ってなくてごめんなさい)

観測会終了後、丸野さんは現地に残られてオリオン座流星群観測
頑張られたんですね、ご苦労さまです。結構飛んでますね！！
残られた甲斐がありましたね、お疲れさまでした。 事務局

20181022配信 No4733 丸野 閑由



21018.10.21四季の星空観測 野津原中部小学校
観測準備中・機材はすべてM野氏の巨砲！！

昨夜はお世話になりました。お疲れさまでした。

四季の星空観測会が旧中部小学校運動場にて行われました。今回は台風のために9月22日に予定されていた日程が10月7日となり、再度台風に見舞われ延び延びになっていたものです。校区の若者がほとんどで20人~30人近くが来ていたようです。今回は4度目（うち2回と3回は空模様が悪く屋内開催）になりますので晴れてくれて、ほっとしました。昨夜は山本会長と奈須さんに来ていただきとっても良い観測会になりました。

6時から開催だったので西空に沈む木星を見ることから始まり、13夜の明るいお月さん、極冠は見えなくなりましたが模様のうっすら見える火星と、射手座にありカッシーニも見えた土星を観望してもらいました。参加者は前回（5月初回）に月面をスマホで撮る要領を憶えたようで、今回は土星のスマホ撮影に熱中していたようです。何度か失敗をしながらも最後にはうまく撮れたようで、みんな満足気でした。

大きな2つの屈折は火星と土星用になりましたが、シュミカセ双眼で入れていた月面が人気なさそうだったのでブルーとオレンジ色の対比が美しいアルビレオ、こと座のリング星雲、ミザールとアルコアを入れて雲のない星空を楽しんでもらいました。

8時過ぎにはお開きにしましたが、私は月曜日が休みなので単独で残りオリオン座流星を撮影することにしました。



2018.10.22.10:56m R1CHO GR 28mm F2.8 ISO3200 4S



2018.10.22.21:24m R1CHO GR 28mm F2.8 ISO3200 4S



2018.10.22.21:29m R1CHO GR 28mm F2.8 ISO3200 4S RESIZE トリミング



2018.10.22.21:41m R1CHO GR 28mm F2.8 ISO3200 4S



2018.10.22.21:44m R1CHO GR 28mm F2.8 ISO3200 4S

大洲市観望会のご報告と、会員の皆さまへの御礼

兵頭さんから、愛媛県大洲市観望会の開催報告が届きました
ありがとうございます、そしておつかれさまです。

大きな水害のあった愛媛県にお住いの兵頭会員、自身も被災していたにもかかわらず避難所で七夜や天体観測で、地域の方を応援されていました。微力ながら応援にと、吉野氏・山本の二人で協会のドブソニアン望遠鏡の貸し出しも兼ねて四国に行ったのがずいぶん昔の気がします、被災された方々はまだ平常には戻っていかなくて苦労が続いているんですね、本当に心が痛みます。

そんな中、兵頭さんは相変わらず天体観測で被災地支援を続けているんですね、本当に頭が下がる思いです。今回も晴れて、観望会・スマホ撮影会なども無事開催出来て本当に良かったですね！
そしてお疲れさまでした！！
事務局

20181006配信 No4586

兵頭 健一

10月22日の夜、愛媛県大洲市 仮設住宅の炊き出しイベントに、天体望遠鏡を出前させていただきました。この地域でも、7月の豪雨災害で4600世帯が浸水、4名の方がお亡くなりになり、現在約40世帯の方々が市街地近くの仮設住宅で暮らしていらっしゃいます。

今回の機材は、自分のFC-100と協会からお借りしているDOB8の2台でした。仕事のあと現地へ直行。望遠鏡の組立を終えたのはイベント開始8分前。いつものごとく、FC-100は目測レベルの極軸合わせでの観望会スタートでした。

日没前から雲優勢の空模様でしたが、18時半頃から南側の雲が切れて、月と土星・火星を観望して頂くことができました。小学生の男の子との会話。

「金星はどこ〜?」「ゴメン！地面の下なの。(冷や汗)」

「木星はどこ〜?」「ゴメン！地面の下なの。(脂汗)」

4惑星 勢揃いしてた夏休みシーズンに出前できなくて、ほんとにゴメンね。また必ず来るからね。



大人の方たちも、月面のスマホ撮影で盛り上がりまして。私はインスタをやった無いのですが、収穫した月面写真を投稿していただけてるかなあ・・・。

コラボした炊き出しイベントのメニューは、美味しいハワイアン焼きそばでした。日本各地で、炊き出しやチャリティーイベントに取り組みされているチームの方々だそうです。(ボランティアスタッフ側の私にも差し入れて頂き、恐縮しきりでした。)

お開きの少し前、スマホ撮影チャレンジ中の皆さんからご了承を頂いたので、1枚だけですが会場の様子も添付いたします。DOB8。無骨さの無い可愛いフォルムも大人気でした。

会員の皆さま、今回もご支援ありがとうございました！！
今後も、DOB8の活躍の場を作っていきたいと思っております。

今シーズン火星スケッチまとめ

中野さんから今シーズン火星スケッチまとめが届きました
ありがとうございます。いやーーーー素晴らしいですね！
壮観ですね！！！！見事です！！！！

これだけ続けるのは大変だったですね、でもその成果は凄い！
ご苦労さまでした！
事務局

20181102配信 No4759

中野 雄吉

2018火星の今シーズンのスケッチ数が50枚目になったので初観測の日から50枚目までの観測スケッチをまとめてみました。6月の中旬に指の骨折をしてしまって～(自業自得です)大接近の頃は見逃してしまいました・・・ oughいえば今年は僕は厄年でした。お疲れしてもらってなかったのが失敗でした。笑笑 8月の終わりから復帰して夢中で火星を追いかけて、いつのまにか昨夜で50枚目。記念にアップしてみました。



田中千秋顧問を囲む会

田中顧問を囲む会が開催されました。

久々に帰郷された田中顧問です、お忙しい中時間をとっていただき、懇親会ができました！全国各地の星まつりや、天文活動、お城巡り、お仕事の都市計画の話、カメラ、☆、機材・・・話が尽きません！！！！四国から多田さんも参加いただき、とても楽しかったです！田中顧問、ありがとうございます！多田さんも遠くからありがとう！！

田中顧問から、出席者に素敵な転写写真のプレゼントがありました。ありがとうございます。記念写真には、店主の吉田さんも関わっていただき7名で写りました！！

日時：2018年11月05日（月曜日）19時位から

場所：豊後駅前 青年酒場

参加者（6人）：田中・山本・阿部・奈須・多田・津田



20181105配信 No4767 山本 幸司



JAAA高松大会案内と帰省について

田中千秋顧問から、JAAA高松大会のご案内と、大分に帰省される連絡が届きましたのでご紹介いたします。

JAAA高松大会、関心と時間のある方はぜひご参加ください。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.nmt.ne.jp/~hhori/jaaa/>

11月の例会は11/7が第一水曜日なのでそれまで田中顧問が大分におられるかわかりませんが、可能なら例会においでいただくと嬉しいです。また無理でしたら、在郷中に皆様の都合がつけば一献催せれば幸いです。 事務局

こんにちは 田中千秋 です。

また台風が接近してきていて大変ですね。大丈夫でしょうか。さて、私こと、10月27日、28日にJAAA高松大会が行われるため、四国に行くことを予定していますが、その足を九州まで伸ばして大分に帰省しようと考えています。11月3、4日が庄内神楽の神楽大会のため、そのあとまで大分に滞在したいと思っています。そこで、大分天文協会の11月例会が11月1、2日あるいは5、6日に行われるのであれば、ぜひ出席させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか？お知らせいただければ幸いです。

あと、JAAA高松大会は、フェリー等を利用して大分からも多くの参加を期待しています。

以上、よろしくお祈りします。

FB友の会より



20181102FB友の会より

奈須 栄一

つる座

20181101FB友の会より

足立 紀彦

NGC891



全国天文愛好者交流会高松大会 JAAA2018のご案内

表記の案内が届きましたのでご紹介いたします。事務局

皆さま、こんにちは。スタッフの茶木です。

今月27～28日に全国愛好者交流会in高松(JAAA2018)が四国天文協会のご協力のもと、高松で開催されます。内容を『ちょっと出し』させて戴きます。皆さまのご参加をお待ちしております。☆周囲の皆さまへの拡散もよろしくお願い致します。

- ・講演会: 香川大学教育学部教授 松村 雅文先生
 - ・偏光・偏波による天文学「偏った見方で宇宙を調べる！」
 - ・天体の観測方法のひとつに偏光(電波の場合は偏波)を調べるといふ珍しいやり方があります。この方法で宇宙の何がわかってきたのか、今後の展望を含めて考えてみましょう。
 - ・香川には天文屋必見の望遠鏡博物館もあり、今回、望遠鏡博物館の館長さんのお話も聴かせて戴ける予定です。
 - ・55cm双眼望遠鏡 製作者のお話
 - ・上山治貴さん(AstroArts)によるデジタル写真のお話
- 等々、話題豊富です。

全国天文愛好者交流会は、老若男女、ベテラン・ビギナーを問わず、全国の天文愛好者が集まり、天文や宇宙、星空への興味、関心、探究を深め、交流を図るイベントです。天文ファン同士、交流を深めましょう。皆さま方のご参加をお待ちしています☆

全国天文愛好者交流会2018高松大会(JAAA 2018)
<http://www.nmt.ne.jp/~hhorii/jaaa/>
参加は無料ですが、懇親会やエクスカージョン、配布物等の準備の都合上、以下から参加申し込みをして戴きたくお願い致します。
<https://form1ssl.fc2.com/form/?id=8ea83c4f175aefcc>
メールによる申込みも可能です。(このメールの下の方をご覧ください)

開催日: 2018年10月27日(土)13時～28日(日)12時
(その後ツアー)

会場: 香川大学教育学部(所在地:香川県高松市幸町1-1)

行事内容: 講演会、研究・活動発表会(口頭・ポスター)、懇親会他
JAAA総会、海部宣男奨励賞表彰式、オプションツアー等

参加対象: 全国の天文愛好者(団体・個人・学生)、天文宇宙ファン、天文研究者、広く天文に関心のある人等どなたでも参加できます

会費: 無料

懇親会: 会費 5000円

エクスカージョン: 10/28(日)午後 さぬきうどんと栗林公園 2000円程度

主催: 全国天文愛好者交流会2018高松大会 実行委員会
日本天文愛好者連絡会(JAAA)

共催: 香川大学教育学部

協力: 四国天文協会

後援(8月現在)

香川県教育委員会、高松市教育委員会、高松市観光課、アストローツ、天文ガイド、日本天文協議会他

参加希望・申込みサイト

(大会/発表/懇親会/エクスカージョン・申込み・参加希望)
<https://form1ssl.fc2.com/form/?id=8ea83c4f175aefcc>
(自動返信にはなっておりませんので、ご了承ください。後日スタッフから、確認を兼ね連絡を入れさせて戴きますが、即応は難しいこと、ご理解くださいませ。一週間経っても、こちらからの返信がない場合は、トラブルが考えられますので、再度、ご入力をお願い致します。)

メール(参加申込・連絡・問合せ先):
kikozaï@mf.pikara.ne.jp(高松:香西)
info@jaaa-astro.jp(JAAA事務局:茶木)

(注意:このメーリングリストjaaa2010に返信されると、全員に流れてしまいますので、ご注意ください。)上記アドレスに送信をお願いします。

-----メールでのお申し込み↓(※必須項目)-----
全国天文愛好者交流会高松大会(JAAA 2018)に参加予定です。

* お名前:

* ふりがな:

* 参加人数: 名

所属団体:

ご住所:

* メールアドレス:

* お電話番号:

* 研究・活動発表: 行う/行わない

→発表を行う場合: 口頭発表/ポスター発表/両方

* 懇親会(5000円): 参加する/参加しない

* エクスカージョン(約2000円): 参加する/参加しない

ご質問・ご要望・コメントなど:

皆さまのご参加をお待ちしております。

☆茶木@JAAA 事務局

<http://www.jaaa-astro.jp/>

トークショー「椅子のお話」

東京在住の大分天文協会会員で写真家の佐藤振一氏が久々に帰郷されるそうです。帰郷は今日(IMMの配信日は2018.10/18)から来週いっぱいくらいかな?

10/26-27に大分市戸次の「帆足本家富春館」での右記イベントの中でトークショーに出られるそうです。頑張ってますね!!!!お時間関心ある方はご参加ください。

なお、そのほかにも竹田市で風景写真の撮影もあるようです、時間あれば是非お会いしたいですね! 事務局

新木工房「居場所になる椅子」

<https://realbasic-design.com/archives/1033>

<http://realbasic-design.com/>

2018/10/07/展示会のお知らせ
富春館にて/

会期: 10/26(金)~10/31(水) 10/29(月)休館

時間: 10時~17時

会場: 帆足本家富春館

<http://www.hoashi-honke.com/event/index.html>

トークショー「椅子のお話」

10/26(金)・27(土)・28(日) 13時~14時

このお話の中に佐藤氏も出演するようです。

20181005配信 No.4685

すばる・カリフォルニア星雲付近
山本 幸司

青く写るM45(すばる)と赤い散光星雲NGC1499(カリフォルニア星雲)その周りの分子雲など、大変美しい宙域です。撮影から現像が遅くなりました。と言うより・・・分子雲の多い宙域は大変難しいですね・・・Facebookの三本松師匠の記事を読みながら何度も処理を繰り返して遅くなったのが事実です(笑)分子雲をあぶりだすと、星雲の赤と青の色が飛んでしまうし、星雲の色を出すとも分子雲が暗くなるし・・・

悩ましい。数えたら18回画像処理を繰り返していました。涙。今時点ではこの程度が限界、とりあえずいったん切りを付けます。



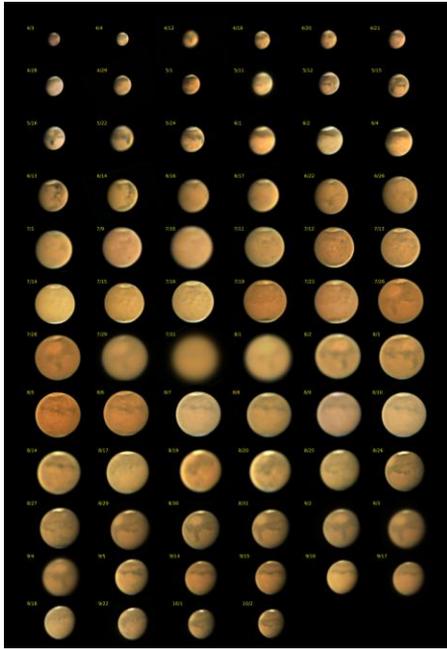
日時: 2018.09.17 01:35~02:33
撮影地: 大分市香りの森付近
機材: JILVA-170 (ノートタッチガイド)
Nikon D810A
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
ISO 1600 118sec×20枚 (計40分)
DSS (64bitVer.4.1.1コンボジット
(dark5枚/flat10枚)
Autosave(32Bit)処理 PhotoshopCS2・SI

20181007配信 No.4689

火星大接近2018のまとめ(暫定)

川端 孝幸

5月までは期待が大きかったのですが、天候と気流に悩まれた接近でした。もう少し条件が整うと有り難かったですけどね。まあ大いに楽しませてくれました(^) もう少し追いかけてみます。

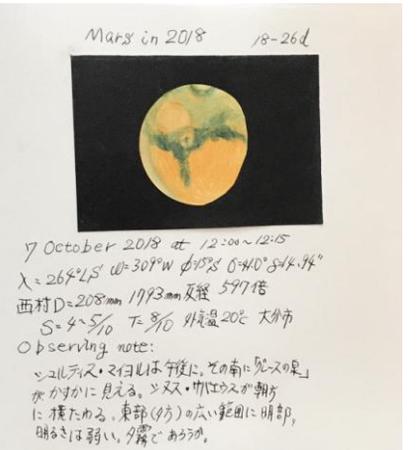
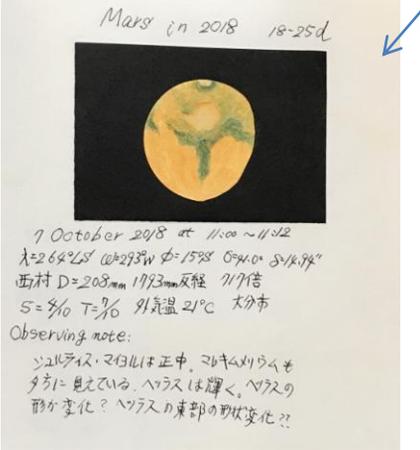
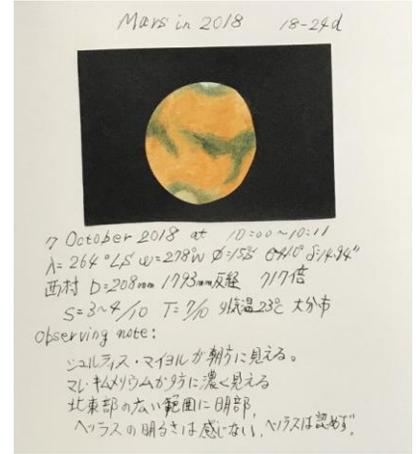


20181008配信 No.4693

昨夜(10/07)の火星の連続観測です

中野 雄吉

昨夜の火星の連続観測スケッチです。最後は21時過ぎに望遠鏡・を撤収しました。未だしばらくは観測できそうなので無理はしないことにしました。昨夜は時間を追うことに気流は安定してきて、最後の観測では、シユルティス、マイヨルの南側に微かに斑点、グレースの泉が見えてました。



20181009配信 No.4694

金星連続観測記録

太田 輝章

本日(10/08)は雲が少なく金星日和でした。しかし、シーイングがイマイチで15時頃は動画では輪郭が判らないくらい暴れていました。それ以降は更に沈む方向で屋根に近づくため、更に悪化していきました。昨日も撮影しましたが今日よりも遅い時刻だったのかシーイングは悪く、今日早目に撮り直しをしてみました。2週間空いたのでかなり細くなりました。10倍の双眼鏡でも形が判りますが、来週の科学の祭典では更に細く太陽に近づくため自動導入に頼るかも。

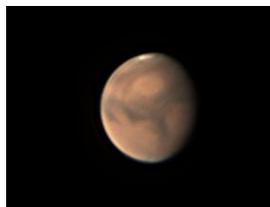


20181009配信 No.4695

昨日(10/08)の火星

川端 孝幸

火星ナウ!(10.08)
ますますの気流に。毎度ばつとしないのでこれくらいのシーイングでも随分いいように思えます。とりあえずドラフト処理画像を1カット(^)



2018-10-08 20h43m00s (JST)
C14+2×パーロー+自作ADC+ASI224MC

20181009配信 No.4696

10月7日撮影の火星です

刈 辰夫

台風一過のあとは、悪気流で撮影出来ませんでした。昨日撮影した久しぶりの火星です。蚊を手で振り払いながらの撮影です。夕方暗くなる前から撮影すると気流的に良いのですが、夕食時間帯と重なりうまく行きません。



2018年10月7日20時46分センター
刈竹カチヤ-25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パーロー adc asi224mc
シャッター-5ms 240s×10
autostakkert Registax Winjupos

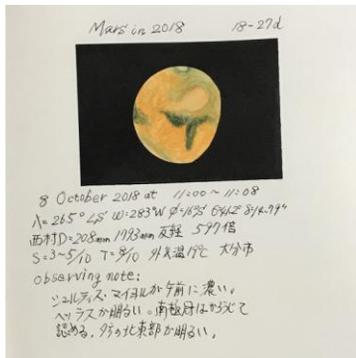
RT 另

20181009配信 No4697

2018/10/8 火星連続観測スケッチ

中野 雄吉

昨夜の火星です。
シーイングは昨夜より悪く、2連続観測して望遠鏡を撤収しました。



20181009配信 No4698

IR改造カメラテスト中

川端 孝幸

当たり前ですが赤い星雲簡単に映ります(^^) 昨夜のテスト画像(jpeg無処理)。



撮影場所：阿蘇外輪山某所(標高約800m地点)
Canon EOS 700D f=70mm F2.8 ISO6400 露出20s

月齢28.1の月
藤吉 健児

連休中は残念なことに観望会は中止となってしまいましたが、風が強いこと以外はよい天気(晴れ)でした。透明度はあまりよくない印象の別府でしたが、3連休の中目ということで、10/08(月)の朝まで徹夜、こんな風に星空を見たのはいつ以来だろう? 朝焼けの色がすがすがしい気持ちにさ

せてくれました。気がつけば月齢28.1の月もしっかり見えていました。

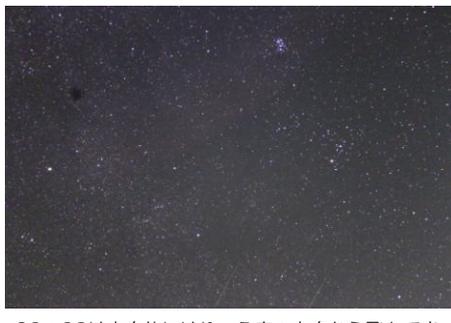


2018.10/08 05:23JST
自宅2階ベランダより
Tamron18-200F3.5-6.3(52mmF5.0)
Canon EOS 70D(In) ISO6400 1/20秒 手持ち

20181010配信 No4700

10/09未明の「散在」流星
藤吉 健児

10/08夜から10/09未明にかけて、70Dの放置撮影を行いました。520コマ(5200秒≒90分)の間に4コマ流星が写っているのを発見しました。01:39は50秒間に二個、平行に飛びました。散在が平行に飛びのも珍しいので、もしかすると以前山本さんが調べ上げたマイナーな流星群のうち10月おひつじ座流星群かも・・・とか



02:23は方向的にはりゅう座の方向から飛んできていますが、輻射点からの距離を考えるとこの長さでは散在でしょう



02:43はこの日の中で最も明るい流星。赤道儀の横に座って手動でディザリングしながら割と気をつけて上空を見ていたつもりでしたが、この4つとも見逃しています。(撮影範囲外のもの2つ見ましたが)



EOS70D(In) ISO6400 10秒
EF-S 18-55mmF3.5-5.6(26mmF4.0)
2018.10/09自宅庭より

20181010配信 No4701

バラの名前
川端 孝幸

ショーン・コネリー主演の映画がありましたねえ(^^) 先日TVでもウンベルト・コーエの番組が流れてました。それはそれとして、このバラの名前(品種)は何でしょうね。八重ではないことは確か! 真ん中にNGC2244の散開星団がおしべのように見えるので一重かと。いろいろ探してみるのですが、しっかりと適合するバラはなかなかありません。探した中では一重のベスピオスという品種がイメージに合うかも。皆さんが思い描くバラは? (^_^) PS、撮影試行中。会長のアドバイスに従い、とりあえず8枚ほどコンポジット練習してみました。なかなか難しいですね(^^))



CanonEOS EOS 700D (Kiss X7i) HKIR改造
EF70-200mm (200mm, F2.8) , 30秒×8, ISO6400
です。

20181011配信 No4703

秋冬に小型望遠鏡で楽しめる惑星状星雲
藤吉 健児

10月の7日8日の連休は薄雲があるものの良く晴れ、久しぶりに星空三昧でした。撮影の初日にディザリングに力を入れなかったらノイズがかなり浮き出てしまい、2日目には徹底的にディザリングをしながら撮影して2日分を併せてスタックすることでノイズを薄めようという魂胆で、2日とも全く同じ順番で同じ天体を撮影する羽目になりました。でもやはり予測通り、ノイズを薄めることができましたので画像を報告することができます。今回は何度撮影してもノイズに埋もれてしまっていた難敵みずがめ座の惑星状星雲NGC7293らせん星雲と初めての撮影になります。ふたご座の惑星状星雲Sh2-274と散開星団NGC2395です。どちらも2xDrizzleで処理していますが400mmでも楽しめる惑星状星雲ですね。





NGC7293らせん星雲
Takahashi SKY90(D90f407RD)
LPR-N+Canon EOS Kiss X7i(lr) ISO1600
2018.10/07 138Fr
2018.10/08 74Fr (Total 212Fr=3時間32分)
Takahashi EM100+PoleMaster ノータッチ+手動ディザリング
自宅庭より
DSS(L212D31F32DF30B55) KappaSigma 2x
Drizzle
PSCS2 StellalImage8 NeatImage



Sh2-274メデューサ星雲 と 散開星団NGC2395
Takahashi SKY90(D90f407RD)
LPR-N+Canon EOS Kiss X7i(lr) ISO1600

2018.10/07 75Fr
2018.10/08 45Fr (Total 120Fr=2時間)
Takahashi EM100+PoleMaster ノータッチ+手動ディザリング
自宅庭より
DSS(L120D31F32DF30B55) KappaSigma 2x
Drizzle
PSCS2 StellalImage8 NeatImage

20181012配信 No4705

冬の有名どころ2題 藤吉 健児

写りやすいだけに逆にイメージ通りに撮れない
むずかし〜い天体2つです。10/7と10/8の二日
間にわって撮影しています。ディザがダイナミッ
クさを欠きノイズが浮いたので2日間の画像を合わ
せたこの連休の撮影でした。M42の処理の心は、星
雲の外周部分とトラペジウムを同時に見たい。
で、M45は淡い広がりを追求したい気持ちを抑えて
バランスを整える、でした。
この二つは処理するときいつも自制心がなくて荒れ
た画像になるので(^_^)

Takahashi SKY90(D90f407RD)
LPR-N+EOS Kiss X7i(lr) ISO1600 60秒
Takahashi EM100+PoleMaster 手動ディザリング
自宅庭より



M42
2018.10/07 48Fr
2018.10/08 58Fr (Total 106Fr 1H46M)
DSS(L106D31F32DF30B55) PSCS2 S18
NeatImage
星雲中心は30秒15秒7秒4秒2秒1秒の画像をコンボジット
して60秒画像と合成

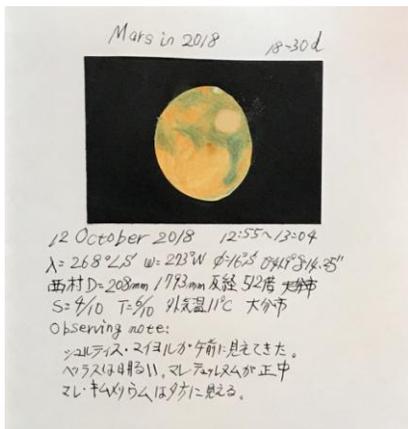


M45
2018.10/08 83Fr
2018.10/09 87Fr (total 170Fr 2H50M)
DSS(L170D31F32DF30B55) PSCS2 S18 NeatImage

20181013配信 No4706

2018/10/12 火星観測スケッチ 中野 雄吉

昨夜の火星スケッチです。
晴れてはいましたが雲量が多く光量が少なく
倍率を上げての観測は不可能でした。λは
268° LSで南半球の夏至に近づいてる。22時過ぎ
に望遠鏡を撤収しました。外気温11°Cでした。
寒いです。。



3枚目は中野さんの愛機の一つ西村の反射ですね
クラシカルで望遠鏡らしい風格がたまりません！
事務局



20181014配信 No4709

フラットの不一致の画像 藤吉 健児

先だっでご報告した冬の天体ですが、フラット用
の星空画像に明るさの違うものが何枚か混じって
いました。これを削除してフラットフレームを作成
したところずいぶん改善しました。すべて含めて
処理したDSSの出力画像が左下、それら6Frを抜
いて処理したDSSの出力画像が右下です



20181013配信 No4707

今夜(10/13)の火星観測スケッチ 中野 雄吉

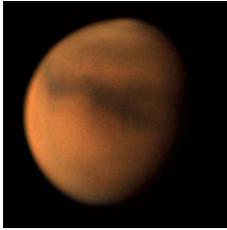
今夜の火星です。雲もなく快晴です。気流は昨夜と
同じくらい。今夜は風もなく快適です。
画材を変えてました。と言っても色鉛筆の種類のみ
です。観測時間は18:50~19:03
2回目の観測は、また雲が出てきて不可能になり望
遠鏡を撤収しました。無理はしないようにしま
す。。

20181014配信 No4710

昨日(10/13)の火星(悪気流)と、昔の火星

刈 辰夫

悪気流で、画質も悪いですが、昨日13日撮影の火星です。



2018年10月13日19時08分センター
加付カハ-25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍ハロー adc asi224mc
シャッター5ms 240s×4本
autostakkert Registax Winjupos

【昔の火星】

古いファイルを見ていたら、2003年火星接近の写真がありました。

(1) 富成火星は、昔の富成天文台の35cmシュミカセで2003年9月27日10時26分頃撮影。もともと旧式カメラの感度不足もあり、ADCも使用していないので、現在の写真のように鮮明ではないですが、口径が大きい35cm シュミカセが格段に良く写ります。



(2) 甲斐火星は、観望会の帰りに甲斐和尚さんの30cmシュミカセで、2003年8月24日1時35分頃撮影。



(3) 31cm火星は、自宅の31cmカセグレンで2003年8月22日0時6分頃撮影したものです。

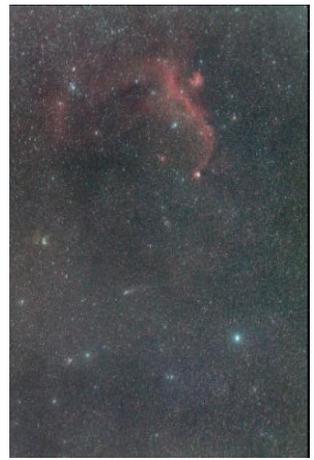


2003年の共通撮影データ：
Sony ビデオカメラDCR-PC101で、リポート手持ち撮影。
ノイズ低減と感度不足対応のため、いずれも、スローシャッター使用。スローシャッターが原因で有効フレームは、100枚行かなかったと思います。
L画像は、赤外線モードで撮影。別に撮影した通常のカラー-RGB撮影画像と、L-RGB合成。

20181014配信 No4712

IC2177わし星雲と
21Pジャコビニチンナー彗星
藤吉 健児

先週末の高度が高い時の方がまだ条件がよかったかな、と後悔。IC2177と21Pの接近は肝心な時にずっと曇り・雨、でしたね。なんと今朝撮影しましたが、高度が低く、その分雲の襲撃の確率もあがりあまり枚数を稼げませんでした。



SKY90+RD+CLSCCD+X7i(II)ISO1600 120秒
×12/32
Tamron SP70-200F2.8(145mmF2.8)
EM100+PoleMaster
2018.10/14 03:25AM 自宅庭
DSS PSCS2 Si7 NeatImage

20181015配信 No4714

観測報告4点

小田 孝明

画像を送らせていただきます
10月7日撮影の、IC1396と、
10月13日から14日にかけて撮影した3天体の画像を送ります。
最近はずれた日が少なかったのですが、先週、今週と週末に晴れたのでラッキーでした。IC1396はモクモクがなかなか映らなくて、フィルターを使ってリベンジしました。赤い色は良く出ましたがまだまだモクモクはうまく出せていません。

例会にも安元さんと行きたいのですが、なかなか都合がつかなくて行けていません。来月は都合がつくといのですが。



撮影対象：IC1396
撮影日時 2018/10/07
撮影場所：豊後高田市自宅庭
鏡筒：タカハシ FS-60CB+Reducer C 0.72X
(FL255mm)
カメラ：EOS8000D (IR)
赤道儀：iOptron iEQ45pro,
ガイド：PHD2 guide(QHY5 II)
露出：ISO1600、150sec×30、dark×15、flat×15
画像処理：DSSでスタック、Si8とPhotoshop Expressで調整



M31 アンドロメダ星雲
露出：ISO1600、360sec×11、dark×5、flat×5



IC348
露出：ISO3200、210sec×46、dark×20、flat×20



NGC2246 クリスマスツリー星雲
露出：ISO3200、240sec×8、dark×5、flat×5

撮影日時 2018/10/13~14
撮影場所：豊後高田市自宅庭
鏡筒：タカハシ FS-60CB+Reducer C 0.72X
(FL255mm)
カメラ：EOS8000D (IR) +LPS-D1フィルター
赤道儀：iOptron iEQ45pro,
ガイド：PHD2 guide(QHY5 II)
画像処理：DSSでスタック、Si8とPhotoshop Expressで調整

20181015配信 No4715

エンゼルフィッシュ釣りあげた

藤吉 健児

くじゅうなどに行き、比較的の広角でオリオン全景を撮ったりするとよく浮かび上がるエンゼルフィッシュですが、画角いっぱいになるように撮影すると難敵中の難敵です。まして自宅からだ。今回、70-200mmのレンズを21P相手に久しぶりに使うので、練習しておこう、なんて星雲に対して失礼極まりない理由で撮影したのですが、その割には、これまで狙ってきた中では一番きれいなんじゃないかな?と思えます。この時刻、この高度にはまだ雲は全然見当たらず、このような空の状況だったら21Pももう少しきれいに撮れたのになあ、とちょっと残念です。



Sh2-264 エンゼルフィッシュ星雲
Tamron SP70-200F2.8(70mmF2.8)+CLSCCD+X7i(II)
ISO1600 120sec×28Fr
EM100+PoleMaster
DSS(L28D6FODFOB55)+PSCS2+Si7+NeatImage
2018.10/14 自宅庭より

20181017配信 No4719

希望の軌跡
津田 剛

先週の金曜、希望が関西上空を通過しましたので、スマホで狙ってみました。12日18時36分通過の様子の単純な写真です。曇っている割には、雲間からスマホで撮れました。



ISO1000 スマホの為、ターター無し。
1枚目が18時36分、
2枚目が18時37分です。

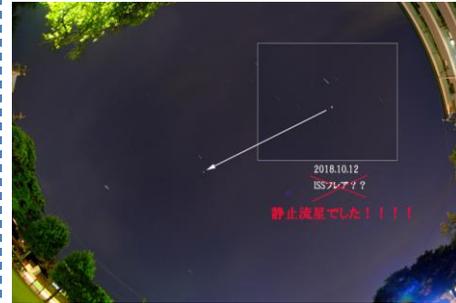
大チョンボ！汗
2018.10.12 / ISSフレア→静止流星
山本 幸司

津田さんが観測されたISS上空通過を山本も観測しましたが、大チョンボで見えませんでした。・・・が、その代わりに静止流星を見れたようです。

懺悔します！！久方ぶりの大チョンボです！！汗 ISSと静止流星を間違えてしまいました！！まっ、めったに見れない明るい静止流星が見れて撮れたんですから結果オーライとお見逃しください。(笑)以下その顛末です、お時間ある方は懺悔をお読みください。(笑)

2018.10.12の夕刻、ISS上空通過の予報は天頂付近を通り明るさもマイナス2等級と好条件！時間もないので街灯で新聞が読めるくらい明るい自宅前の公園出の観望となりましたが、ISS観望には問題ありません。心配な要素は雲がわいてきたこと・・・そして心配した通りとなり時間になってもISSが見えませんが、2等星くらいは見えてるから見えそうなんです、見た目より雲が厚いのかな？？？と調べてたら最大光度付近で一瞬だけマイナス等級のフラッシュの光が！！前後が見えなかったのは雲が厚く、最大光度のときだけ。透て見えたのかな？と思い、撮影した画像を現像してみました・・・前後が全く写ってません。周囲の星を見れば、全く写らない雲の濃さではありません。海星館の方々の観測や、大分市中心部の会員の報告でもふつうに見えたそうです。なぜ、当地ではこのように見えたのでしょうか？？？太陽光パネルの回転かな？・・・等等、可能性を考えていましたが、携帯版インフォメーション配信原稿の為に来週ISSをシミュレーションしていた時に気が付きました。

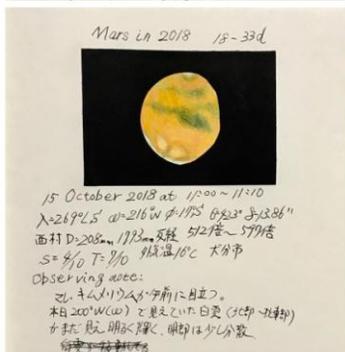
シミュレーションサイトの観測地が大分無く岐阜市！！！！そうです、観測地設定がいつの間にかデフォルトの岐阜市に変わっていたのでした。おそらくPCの更新などの時にデフォルトに戻ってしまったんでしょ。つまり、当日の私が参考にした通過予報は岐阜市・・・通過位置時刻がずれていました。涙 大チョンボです・・・情けない。(笑)とすれば夫婦で見たフラッシュの光は？？？イリジウムのフラッシュとも航空機とも明らかに違いますから、考えられるのは・・・静止流星の可能性が高いです！！！！たまたま運のよいことに静止流星が、たまたま間違えた予報の位置&時刻に見えたという、あり得ないくらいの偶然の重なりのような。現実ではありませんが、その可能性が一番高いと思います。運が良かったのか？悪かったのか？いずれにしても調べるときの確認作業をもっと確実にしないといけませんね・・・大反省です！！(笑)



20181017配信 No4720

2018/10/15 火星観測スケッチ
中野 雄吉

今夜は残念ながら曇ってます。昨夜は割と気流も良く、特に火星の北部の明るさが目立ち、その色合いは非常に綺麗でした。南半球は夏至を迎えて南極冠は後退して眼視では殆ど明るさを認められなくなりました。視直径は13"になりました。



Facebookの中野さんの記事に、観測スケッチを本に・・・フォトブックかな？纏めたいと投稿されていたのでFacebookから転載させていただきました。素敵ですね・・・いつか例会にでも持ってきて見せてください！！以下、Facebookの中野さんの記事から転載

手作り火星観測スケッチ本の2冊目が完成しました。5月10日の初観測日から2冊目は9月18日から10月12日まで、総観測数29 観測数です。現在、3冊目にはいっています。



20181017配信 No4721

再処理：
觸髅星雲IC410と勾玉星雲IC405
山本 幸司

中々観測撮影に行けないので、お仲間にお借りして、以前のデータを再処理お勉強。昨年初頭の星雲を再処理してみました。大したことないかもしれませんが2年弱の間に皆さんに色々教えていただいた。画像処理技術の進歩を見ていただけたらお礼になるかな？(笑)

組み写真の左が当時・右今回の再処理



20181019配信 No4725

火星と月の接近

井餘田 敏彦

ベランダから外を見ると、月と火星が目にとまりカメラを持ち出してパチリ。月が明るすぎて、なかなかうまくいかない・・・。なんとか、月の雰囲気とギリギリ火星が写りました。



2018.10.18 火星と月の接近

山本 幸司

夕方、小雨の降った大分市ですが上弦（半月）過ぎの月と橙色の火星が仲良く並んで見えてきました。

日時：2018.10.18 19:42 撮影地：大分市牧付近
機材：Nikon D810A+Zoom-Nikkor*ED
50~300mmF=4.5(f=300mm F=4.5)
ISO 800 1/25・1/1000 SIで差の絶対値合成トリミング



20181019配信 No4726

昨日(10/13・15)の火星

川端 孝幸

まだまだ見えます。(^^)



C14+2×パーロー+自作ADC+ASI224MC

20181020配信 No4728

月と火星の接近

藤吉 健児

月と火星の接近別府市バージョンのご報告です。どうしても街明かりの上に撮りたかったので、高度が低くなるころでいいや、とは思いましたが、仕事が終わらず高度が低くなるまで撮りに行けなかった、というも事実です。光度差がある天体ですのでどう撮ってどう処理するか悩みますが、とりあえず今回はPhotoshopでのリニアライト合成を使ってみました。ところで、最近、接近系マニア、とレッテルを貼られていますけれど

・・・
どうしてはられましたかね？(笑)



Canon EF-S 24mmF2.8
Canon EOS Kiss X4(非改造) ISO800
2018.10/18 23:38 別府市実相寺山
F2.8 0.8秒 と F7.1 1/320秒のコンボジット
PSCS2 ステライメージで周辺減光補正

20181020配信 No4731

金星連続観測記録

太田 輝章

本日の金星です。内含5日前とあり、かなり太陽に近づきましたが、南側に距離があるので意外と輝面が広いと、バックが青空だったこともあり、30倍での導入でも楽勝でした。視直径が大きいので今回はデジカメでも撮影しました。2倍テレコンを付けており、画面横が月の直径程度というサイズ感で見て下さい。6年前の日面通過を撮影中に何度も「デカッ!」と思いましたが、やはりこのサイズだとデカいですね。火星の大接近は騒ぐのに、金星の大接近は騒がれないのは、普通に見えないためですね。地球のお隣さん「こんにちは」。



20181022配信 No4734

後の月見

藤吉 健児

出張に向かう道のりで、東海道山陽新幹線の運転見合わせに見事につかまり、2時間以上新幹線の中に缶詰めになりました。帰りにそれが起きたらどうしよう、と思っていましたか帰路には何のトラブルも起きませんでした。で、23時に帰りましたのですが頭の中はオリオン群でいっぱい、全くこの月明かりが・・・と文句を言っていたら、日付が変わったところにFBを見たら、なんと栗名月、9月13夜、慌てて撮影しましたが日付は変わって、10/22の01:49でした。



SKY90+1.4Teleplus+X7i(lr)
8コマ手動コンボジット
2018.10/21 25:49 自宅庭

オリオン座流星群の観測を邪魔していた明るい月ですが、実は旧暦でいう、栗名月!!! お月見も楽しまねばなりませんね!!! (笑) 流星群観測で忙しく月見は午前零時を過ぎてしまったようですが、星屋にとっては一日は30時間制(笑) 夜が明けるまでオクゲーですからこの画像も立派な十三夜の月:栗名月です!!! 綺麗な月をありがとうございます。

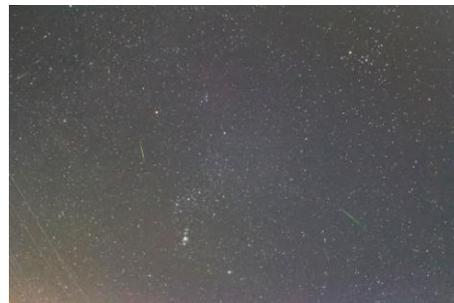
事務局

20181022配信 No4735

オリオン座流星群2019

藤吉 健児

毎年オリオン群は、一晚撮影して1個、とか、釣りのにはボース、という事態に陥ることが多いのですが、今年は月明かりがあるのにすいぶん沢山写し込めました♪その割に一つも目では見ていない、というところが残念です。



2018.10/22 0:18撮影開始2:37撮影終了(2時間19分)
Canon EF-S 24mmF2.8 F2.8で撮影
Canon EOS Kiss X4(非改造) ISO6400 5秒
×1313Fr
自宅庭より
SLIK U8000 + ナノトラッカー

流星の写った6コマをコンボジット
(月の高度の影響もあって、0時台、1時台、2時台、で背景の空の明るさが変化するため、通常比較明では、後半の流星が消えてしまいます。0時台2個、1時台2個、2時台2個、背景の明るさが同じくらいのもをそれぞれ比較明コンボジットを行い3コマにまとめ、その3コマは加算コンボジットを行ってます)
流星の出現時刻は、東側から順に2:31、1:30、2:36、0:33、1:42、この5つは群流星のようですが、最も西の0:40のものは散在でしようか。

20181023配信 No4736

IR改造カメラテスト続編

川端 孝幸

いっぺんにやろうとしても選層前の頭は付いていかないのでペーパーステップにて(いやもう、ロージンステップか(〜)) 藤吉さんの魚釣りにつられて、とりあえず撮影したものの中から1枚。一昨日の都城、霧島山ろくにで。結構流星見えましたね。それはともかく、コンボジットしてからやると分からないので、まずこの一枚をいじってみました。キャンソンのDPPを使ってヒストグラムだけの調整です。



藤吉さんのアドバイスをもらって、さらに4枚を処理後コンジットしてみました。通常コンボジットしてヒストグラム等の調整ですが、枚数少ないので逆にしてみました。今回はrow現像とコンボジットの流れだけです。isoを上げ過ぎなど、撮影の問題もフラット、ダークの問題は次回。(〜)



撮影場所：霧島南山麓(標高約360m地点)
Canon EOS 700D+LPR-N 70-200mm(70mm)F2.8 IS06400

1枚目：約60s×1のみヒストグラム調整のみ、
2枚目：30s×1、60s×1、90s×1、120s×1をそれぞれヒストグラムのみ処理後コンボジット。これをレベル若干調整

まだまだ火星!

川端 孝幸

昨夜は幾分か見やすい気流でした。極が分離してるようにも見えます。外惑星も満ち欠けて13夜の月と同じような栗型です(〜)



2018-10-21 22h03m09s (JST)
C14+2×パロー→自作ADC+ASI224MC

20181023配信 No4737

10/20 21. 火星連続観測スケッチ

中野 雄吉

20日と21日の連続観測スケッチです。気流は良くありませんが、見ただけのスケッチです。昨夜で視直径は1.2" になりました。



20181023配信 No4738

昨日(10/21)撮影の

栗名月と小さくなった火星の比較
刈 辰夫

昨日は、栗名月でした。寒くなったのに蚊が多く、蚊を避けながら撮影しました。同じ日の小さくなった火星と、月の見かけの大きさを比較した写真です。悪気流で視直径の小さい火星は低画質です。



火星データ:
2018年10月21日20時33分センター
5k(ワッパ+25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パロー adc asi224mc
シャッター6ms 240s×9本
autostakkert Registax Winjupos

月データ:
2018年10月21日21時10分
シャッター20ms 90s×1
autostakkert Registax
他は火星と同じ

20181024配信 No4740

オリオン座流星

丸野 閑由

10月21日夜にオリオン座流星群を撮影した画像を整理していたら、8mm広角レンズで撮影した

なかにも流星が写っていました。もともと小さい流星なので目立ちませんがオリオン座のすぐ上にあります。



2018.10.21 冬の天の川と黄道光

山本 幸司

画面中央右にオリオン座が見えますが、その左(画面中央)には冬の天の川が垂直方向に雲の帯のように見えます。左下から斜め右上に伸びる光は黄道光(こうどうこう)と言います。黄道光とは、天球上の黄道(見かけ上、太陽の通る道)に広がった塵(ちり)が、太陽の光を反射して見える現象です。日本ではおもに1月~3月(夕方の黄道光)、もしくは9月~11月(明け方)に見やすいです。天の川よりも淡いため、都市部では光害のために見ることはほとんどできませんが、星見の適地:久住高原は空気の澄んだ時によく見えます。



黄道光は太陽から離れるにつれて暗くなるのですが、太陽の反対側で少し明るくなっています。これが対日照です。黄道光や対日照は、太陽の周囲にあるダストとよばれる粒子が太陽の光を反射しているものです。ダストは太陽に近いほどたくさんあることと、前方散乱というメカニズムで太陽の光を反射しているため太陽に近いほど明るく見えています。太陽の反対側では、後方散乱の効果が大きくなって、明るく見えています。これが対日照です。最近の観測では、黄道光のもとになっているダストは直径1cm程度だということがわかってきたようです。直径1cm程度のダストは、流星の元になる物質と同じ物です。彗星から放出されて太陽の周りを回っているもので、このような粒子は太陽系には無数と言ってもいいほどたくさんあります。彗星からはさらに小さなダストも出てくるのですが、あまり小さなものは太陽の光によって太陽系外へ吹き飛ばされてしまうらしい。(βが0.5以上の小さなダスト粒子は太陽の光圧のために楕円軌道とならずに太陽系内にとどまらない。)恒星のまわりにダストの円盤がある星は数多く発見されていて、ベガや「がが座β星」が有名だ。

20181024配信 No4741

くじゅう連山日周運動

山本 幸司

気持ちの良い星夜でした。東京在住の天文協会会員で写真家の佐藤振一氏からの依頼で、くじゅうの山と、星の日周運動の撮れるポイントに案内しました。ついでに自分も撮影を！(笑)この2倍くらいの時間撮影したのですが流れる雲と飛行機通過のカットを省いたら短くなってしまいました。(笑)月明かりがくじゅう連山の山々を照らしてくれて良い雰囲気でした。



昇る冬の星座日周運動

山本 幸司



南極老人星

山本 幸司

一番下の明るい星軌跡はりゅうこつ座α星カノープスです。南極老人星と呼ばれ、この星を見ると長生きできるといわれています。緯度の高い地域では地平線すれすれでなかなかご覧にならないようですが九州大分、視界の開けた久住高原ではこんなに高く長時間見えます。



以上を、タイムラプス動画にまとめてみました！

「2018.10.21 久住の星空」

<https://youtu.be/e7D-rusSQiw>



北天の日周運動

20181025配信 No4742

まだまだ火星！

川端 孝幸

今夜は移動性高気圧に覆われてますますの気流です。タルシス3山、オリンポス山も良く見えます(^)



2018-10-24 20h21m02s (JST)
C14+2×パーロー+自作ADC+ASI224MC

20181026配信 No4745

火星ナウ！

川端 孝幸

移動性高気圧が一段と頑張っ、気流が昨日より幾分良いようです。IR760nmで見てると一層細部が見えてきます(^)



シーイング：4/10、透明度：3/5
2018-10-25 21h06m43s (JST)
C14+2×パーロー+IR760nm+ASI224MC

火星ナウ！（10/25）と言うことで観測後すぐに送っていただいたのですが配信が翌日になってしまいました、申し訳ありません。気流が良くて何よりですね！ところで、ネットで話題になってるタルシス3山からの噴煙のような雲は観測できませんか？？ 事務局

20181027配信 No4746

日に日に小さくなって行く

10月25日の火星

剃 辰夫

砂嵐でどこに有るのかわからなかった太陽の湖が、見えるようになりました。やはり、夕方気流の良さそうな時間帯に撮影。この日は、いつもより僅かに気流が安定してました。



2018年10月25日19時11分センター
カワカキヤ-25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍パーロー adc asi224mc
シャッター6ms 240s×10本
autostakkert Registax Winjupos

10/24 25. 火星連続観測スケッチ

中野 雄吉

最近では18時から既に観測可能です。早い時間より観測はできますが無理はせず楽しむ程度で2観測くらいで観測終了させてます。ただ約10分は観測用椅子に座り見続けてますが寒くなりました。。。もう少し季節が進むと根性なしになると思います。



20181027配信 No4747

Arsia Monsの雲(火星)

川端 孝幸

会長のご指摘を受けて24日の画像を見てみましたが、雲は時間が経って消えちゃったみたいですね(^)ついでに25日の火星も拡大してみました。極近くのチュレ〜クロニウスの海あたりに雲があるように見えます。Arsia Monsの雲は残念ながら見えません。もう少し早い時間に撮ればいいのかも少しれません。



2018-10-24 20h21m02s(UTS)



2018-10-25 20h56m02s(UTS)

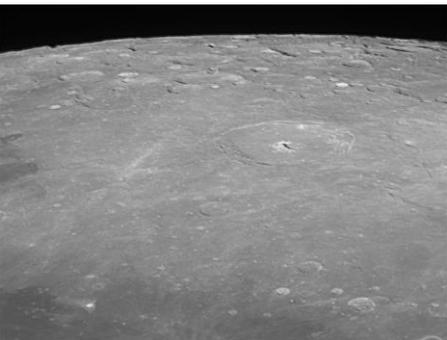
ネットで話題になっていたタルシス3山（中のArsia Mons）からの噴煙のような雲は残念ながら観測時間の差で撮れなかったようですが気がかけていただきありがとうございます。正体は何だったでしょうね？情報があたら教えてください。事務局

20181027配信 No4748

いい月です (~25日レビュー)

川端 孝幸

いい月です(^)25日深夜、日付は26日に。火星が西に傾いたころ、月は上空に来て気流も安定してきました。みなさんと同じ光景を見ている。特に同じ光学系のFB友の渡辺師匠の画像を拝見するとデジャブ一な感じ!不思議です。何枚か撮れた中から、ピタゴラス周辺の1枚。ピタゴラスだけに中央山塊も二等辺三角形?クレーター左側が★印に見えて、ピタゴラスとセットで○★に(笑)



【金星の見かけの変化】

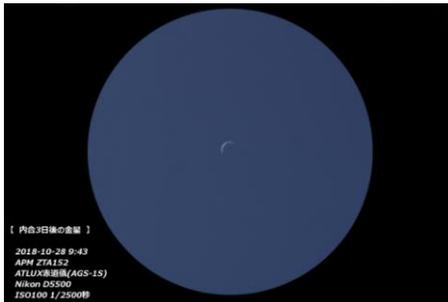


20181028配信 No4749

本日(10/28)の金星

太田 輝章

内含は25日で平日でしたので撮影しませんでした。昨日も良く晴れており導入してみましたが見野が明るすぎたのですくにあきらめました。本日はバックが青く金星がコントラスト良く見えたので撮影できました。内含5日前の20日と比較するとかなり細いですが、大きさはほぼ同じです。テジカメでも撮影し、アイピースを覗いたイメージにしてみました。これだと、50度の視野で60倍くらいかもう少し大きいイメージでしょうか。



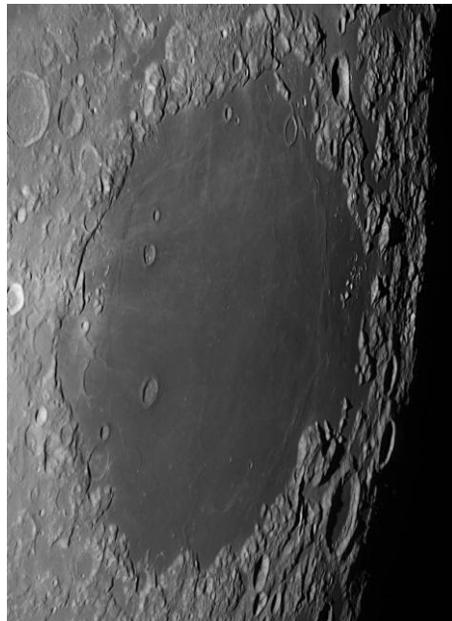
【内含3日時の金星】
2018-10-28 9:43
APM ZT4152
ATLUX後継機(AGS-1S)
Nikon D5500
ISO100 1/2500F8

20181028配信 No4750

Mare Crisum (危機の海)

川端 孝幸

2枚モザイク。25日夜中。移動性高気圧に覆われた2日目の空は久しぶり安定。これくらいの条件がもっと欲しいですね。



2018-10-26 01h21m45~22m48s (JST)
C14+IR760nm+AS1224MC

20181029配信 No4751

祝: 2018.10.29

H2A 40号機打ち上げ成功

山本 幸司

温室効果ガス観測技術衛星2号「いぶき2号」(GOSAT-2)を搭載した H2A 40号機の打ち上げが成功しました。おめでとうございます! 大分市佐賀関の海岸で見送りましたが白昼の打ち上げを見るのは今回が初めてでした。結果的には、明るすぎて眼視・手持ち双眼鏡では確認できず残念でした。打ち上げ・飛行の位置は大体わかってましたので200mmレンズで撮影しましたが、モニターでは全く見えません。画質は落ちる前提で強かに画像処理して何とかあぶりだせました。快晴ではありませんでしたが透明度も悪かったようでそれなりのフィルターを使わねばならなかったようです。夜の方が見やすいですね!



2018.10.29 H2A 40号機打ち上げ

20181030配信 No4753

10/29 火星連続観測スケッチ

中野 雄吉

昨夜の火星連続観測スケッチです。スタートは割と気流は良く、最後の20時前に少し気流が悪くなりましたが昨夜ほどではなく2観測スケッチができました。28日は気流が悪すぎて観測スケッチは諦めました。



20181031配信 No4755

20181030イリジウムフレア

藤吉 健児

山本会長、情報感謝です。ようやく少し星空を見上げるゆとりが回復しつつあるところでしたので見上げてみました。と言っても本来まだ仕事での予定だったので諦めていたところ、偶然にも10分ほど時間が空いたことで見る事ができたのですが。



Iridium 54のイリジウムフレア
フレアセンター18:47:53JST
EOS Kiss X4+EF-S24mmF2.8 (F7.1 ISO800)30秒
別府市東荘園より撮影

20181031配信 No4755

20181030イリジウムフレア

山本 幸司

予報光度 -8等級のフレアは明るかったです！
行いの悪さのせいかな、ちょうど火星付近に雲がわき
ました！涙 雲を通してかろうじて・・・！



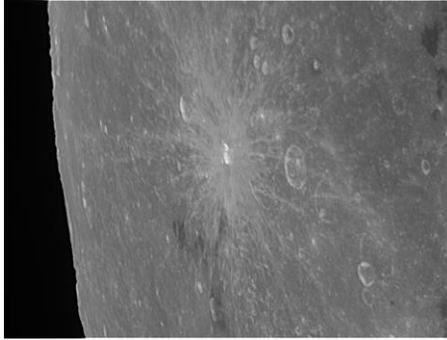
日 時：2018.10.30
フレアセンター時刻は18:47:53
衛星：Iridium 54 (-8等級)
撮影地：大分市牧付近
機材：FUJIFILM X-T1
XF18-55mmF2.8-4 (f=33.0 F=3.6)
固定撮影 ISO 400 露出 30.0sec
トリミング

20181031配信 No4756

ピュルギウスA

川端 孝幸

満月前後の影のない月への興味も尽きません。小さいですが、そのレイにより存在感のあるクレーター
です。



2018-10-26 01h34m01 (JST)
C14+IR760nm+ASI224MC

ピュルギウスAは小さいですが、結構目立つク
レーターです。ガイド本（ルークルの「月面
ウォッチング」）にも月の名所50景に紹介されて
ます。

20181101配信 No4757

クレオメデス

川端 孝幸

クレオメデス谷もなんとか分かる。



2018-10-26 01h19m30 (JST)
C14+IR760nm+ASI224MC

20181103配信 No4760

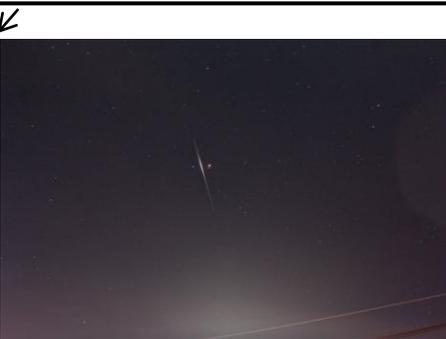
20181102のイリジウムフレア

藤吉 健児

@別府市

山本会長からの情報は見ていましたが、今日は外勤
の日、さすがに無理かな？と思っていたのです
が・・・クリニックに戻ったのが18:30、間に合わ
ないだろうなど思いつつともかくにも三脚に載せ
てピントを合わせて顔を上げたらちょうど増光しは
じめ。間に合いました！

2018.11/02 18:34
Canon EF-S24mmF2.8(F7.1)
Canon EOS Kiss X4(normal) ISO800 30秒
大分県別府市にて



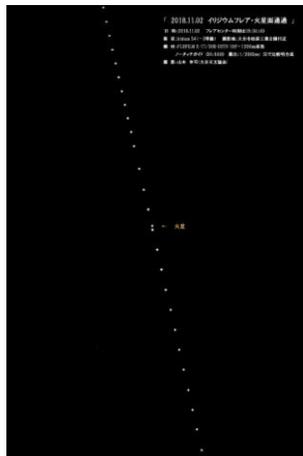
20181103配信 No4761

2018.11.02イリジウム衛星火星面通過

山本 幸司

11/2のイリジウムフレア予報サイトを調べていた
らなんと、火星に超接近するコースを通ります。し
かも、最大光度は火星接近の1秒前ですからなんと
ラッキーな！！！！ここまで条件がそろうなら、
是非ドンピシャを見たくて人情ですよ
ね！！(笑)そこでステラナビゲーターでシミュ
レーションしてみて、最善の地を割り出しました。
朝から楽しみにしていましたが、雲が多くて非常に
心配、それでも晴れに期待して出撃です。
現地の公園に18時前に到着し機材を設営しているう
ちになんとなんと、晴れてきました！！！！火星
が見えてきました！これはいけるぞ・・・と思っ
たら、ここで新たな難敵。駐車場に次から次に車が
入ってきます。公共の駐車場ですから文句も注意も
出来ませんのでハラハラしていましたが5分くらい
前に皆さん出ていきました。(きつと怪しいやつが
いるからと警戒されたのでしよう(笑)) 予定時刻
になり天頂方向からイリジウム衛星が近づいてきま
した、後はシャッターを切るだけ！！！！

隣では同行者(妻)が10センチ対空双眼鏡で火星を
視野に入れてますが「わーーーーー！明る
い！！！！」と歓喜の声！イリジウムフレアを大型
双眼鏡で見た人はそんなに多くはないでしょうから
妻はラッキーです！！(笑)眼視では火星を見事に射
抜いたように見えました！1200mm直焦の写真判定
は帰ってからの楽しみでした。帰宅して現像合成し
てみたら、ほぼ射抜いたと言えそうですね。見事な
予報ですね！！！！



「2018.11.02 イリジウム衛星・火星面通過」

日 時：2018.11.02
フレアセンター時刻は18:34:49
衛星：Iridium 54 (-3等級)
撮影地：大分市松原工業公園付近
機材：FUJIFILM X-T1/DOB GOTO 10
f=1200mm直焦
ノータッチガイド ISO:6400 露出:1/2000sec
S1で比較明合成



「2018.11.02 火星を射抜くイリジウムフレア」

日 時：2018.11.02
フレアセンター時刻は18:34:49
衛星：Iridium 54 (-3等級)
撮影地：大分市松原工業公園付近
機材：Nikon D810A/AF-S NIKKOR 50mm F1.8G
固定撮影 ISO:200 露出:60secトリミング

OK 分

20181103配信 No4762

本日(11/03)の金星
太田 輝章

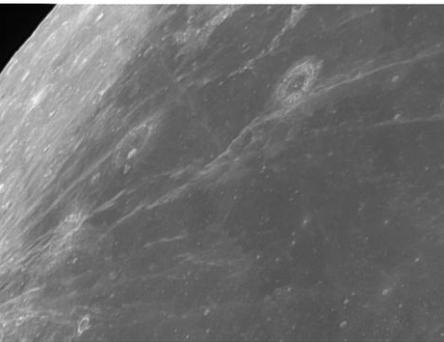
本日の金星です。内合から9日目でしたから、10/20のものより太くなっているだろうと思いましたが、それよりも細かったのが意外でした。今日も30倍の導入時には青空にくっきりと白い金星がとても綺麗でした。



20181103配信 No4763

交差するレイ
川端 孝幸

セレスとクラフトの間付近でレイが交わる(ように見える)詳細に見えてくると益々想像が膨らみます。ところでしばらくの間、南の大きな島に遠征隊(福岡の金子隊長、吉野さん、当方です。)を組んで行って参ります。成果があれば後日ご報告致します!



20181103配信 No4763

2018.11.02
火星を射抜くイリジウムフレア
山本 幸司

拡大連射と固定撮影の画像を見やすく1枚にまとめましたので、再掲載させていただきます。



①写真右(固定撮影)
日時:2018.11.02
フレアセンター時刻は18:34:49
衛星:Iridium 54 (-3等級)
撮影地:大分市松原工業公園付近
機材:Nikon D810A/AF-S NIKKOR 50mm F1.8G
固定撮影 ISO:200 露出:60sec トリミング

②写真左(望遠鏡にて連射)
機材:FUJIFILM X-T1/DOB GOTO 10
f=1200mm直焦
ノータッチガイド ISO:6400
露出:1/2000sec
S1で比較明合成

③「2018.11.02
イリジウム衛星・火星面通過
動画」
<https://youtu.be/Cd9yDxn15BU>



20181104配信 No4765

衛星の落下
安元 治義

衛星の落下だと思います。11月4日18:20頃 東の空から南の方へ。ゆっくりした火球で最後は燃え尽きるようにバラバラになりました。18:21:41のイリジウムフレアを撮影するのにカメラ設定中、一番おいしいところは写っていませんがテスト撮影に写ってくれました。明るい星は火星です。肝心のフレアは見逃しました。(あたふたして時間が過ぎていました)

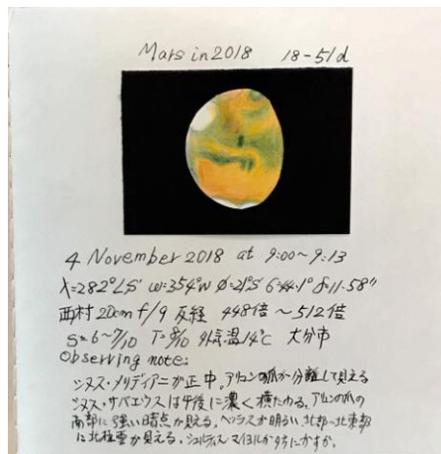


安元さんから、「衛星の落下」の観測報告画像が届きました。ありがとうございます。画像の左下でしょうか?何ミリのレンズかわかりませんがかなり長く明るいようですね!写野から外れてから爆発したのでしょうか?その部分が写っていないのは残念です。可能性は衛星の落下と火球の爆発ですね、この辺は見た方でないと判断付きませんね。いずれにしても貴重な目撃です、晴れたら観測している熱心さのおかげの遭遇ですね!
事務局

20181105配信 No4766(4767)

11/4火星観測スケッチ
中野 雄吉

11/4の火星観測スケッチ1枚です。18時から10分ちよい見えますが、この時期には珍しくシーイング良かったです。シヌス・メリディニアのアリュンの爪は濃く分離してその南部に強い暗点を認めました。ヘッラスは明るく南極冠も明るさを認めました。



20181106配信 No4768

おうし座南群火球@福岡都市高速
藤吉 健児

安元さんが2018.11/04の18:20に目撃された現象と同じものを、福岡市内の都市高速道路走行中に目にしましたのでご報告します。環状線外回り呉服町ランプを過ぎた直後です。

かなり低空を航空機が飛行する地域ですので最初は飛行機かなと思いました。後半二つに見えたので、両翼の翼端灯か、と思ったのですが、ずっと消えたので、火球だ、と思いつきました。(その瞬間のドライブレコーダーを見ると、わき見運転していないつもりでもわずかにハンドル操作が甘くなっていました)ドライブレコーダーの画像をキャプチャーして拡大すると少なくとも3つ以上に分裂していることがわかります。安元さん多数に分裂したという情報に間違いがない証拠ですね。これだけ見ても何のこと?という感じだと思いますのでYOUTUBEに動画でアップしました。

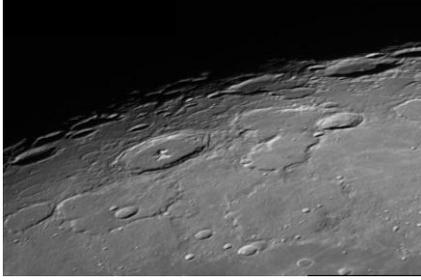
<https://youtu.be/dWYFSuXBDao>



安元さんから報告のあった、11/4 18:20の火球の同時観測報告が藤吉さんから、しかも目撃地は福岡市の高速道路上から!!!届きました、ありがとうございます。高速を運転しながらも、飛行機と間違えやすい状況にもかかわらず、分裂から、航空機でなく火球と判断するなど流石です!しかも文明の利器にドライブレコーダーにしっかりと記録されていて、その解析から3つに分裂していることも分かるなんてすごいです。豊後高田の安元さん・福岡市の藤吉さん、さらにFacebookでは岡山の横道さんの自動流星捜索ビデオにも写っていたそうですし、熊本方面でも目撃はあったようです。
事務局



③アリスタリコス台地



④ビタゴラス付近

20181106配信 No4774

2018年のおうし座流星群

丸野 閑由

2018年のおうし座流星群は11月6日にピークを迎えると思われましたので2階ベランダにカメラ2台を据え眠りにつきました。朝起きてカメラの中を調べると嬉しいことに、おうし座流星ではないものもありますが、大物が撮れていました。

もう一台のカメラには小物が3個くらい入ってましたが大物ではないので却下した。昨年の暮れに同じような位置で大きな流星を撮ったので比較のために添付しています。結構まけず劣らずです。



20181106配信 No4775

月の名所シリーズ⁽¹⁸⁾

安元 治義

北部の山々と虹の入江遅れて投稿になります
やっと月のデータ整理が終了しました



20181106配信 No4775

今夜(11/6)の火星連続観測スケッチ
中野 雄吉

今夜の火星観測スケッチです。昨夜より少しシーイング落ちてますが大シルチスが夕方に綺麗に見えてました。19時台にもう一度、見てみましたがシーイング悪化でスケッチできませんでした。
今夜は1枚のみです。



20181107配信 No4776

豆粒のように小さくなった火星
刈 辰夫

この3日くらい気流的に安定しているようです。時間帯は、17時30分頃が良いようです。もう、夜は冷え込むようになりましたが、蚊を追い払いながら撮影しています。
Winjuposの輪郭線は、位置合わせのときに、輪郭線を惑星像より一回り大きめにすると、合成後の画像に輪郭線が出来ないことが分かりました。



2018年11月4日19時37分センター
シャッター6ms 240s×9本
2018年11月6日17時43分センター
シャッター6ms 240s×7本

スカイウォッチャー25cmF4ニュートン GPD赤道儀
5倍ハロー adc asi224mc
autostakkert Registax Winjupos

アストロインフォメーションバックナンバーご案内

大分天文協会の会報として、ニューアストロインフォメーションを2018年03月から発行を再開しています。今回の8月号まで、毎月1回発行しています。それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です。次のアドレス(リンク)から目的に応じて好きな方をダウンロードしてください(左上の青い矢印のダウンロードをクリック)

Yahoo!ボックス



1) 通常 (通常PDF版 : 3~5M) A4版

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/eAMtE1>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/WSgTHB>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/duLLRu>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/sw8gKq>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/BkGw61>
- ・2018.04 (096) 号 <https://yahoo.jp/box/IP2hCW>
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/j6CZ3e>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/ekTjst>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/tlR2Aw>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/QRKehN>
- ・2018.09 (101) 号 https://yahoo.jp/box/J_GntK
- ★2018.10 (102) 号 <https://yahoo.jp/box/agRgfw>

2) HQ版 (ハイクオリティー版 : 30M前後)

- ・2017.11 (094.96) 号 <https://yahoo.jp/box/8UF--H>
- ・2017.12 (094.97) 号 <https://yahoo.jp/box/JzZ6eY>
- ・2018.01 (094.98) 号 <https://yahoo.jp/box/VQkWOH>
- ・2018.02 (094.99) 号 <https://yahoo.jp/box/6reamQ>
- ・2018.03 (095) 号 <https://yahoo.jp/box/YEAULE>
- ・2018.04 (096) 号 https://yahoo.jp/box/cl81_m
- ・2018.05 (097) 号 <https://yahoo.jp/box/rHMdVN>
- ・2018.06 (098) 号 <https://yahoo.jp/box/9x5buk>
- ・2018.07 (099) 号 <https://yahoo.jp/box/f-vwvov>
- ・2018.08 (100) 号 <https://yahoo.jp/box/0lqrbo>
- ・2018.09 (101) 号 <https://yahoo.jp/box/bpo2PS>
- ★2018.10 (102) 号 <https://yahoo.jp/box/d9XaBG>

一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はこちらでどうぞ。

タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として読むスタイル(指を使った拡大操作が可能)に対応出来るように紙面サイズを非常に大きくし、掲載画像のクオリティもあげています。高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。

「 NEWアストロ・インフォメーション2018.10 (NO.102) 印刷のエラーについて 」

NO.4687-2で配信いたしました、インフォ102号 Yahoo!ボックス HQ版の印刷が上手くいかない症状が出るのが分かりました。

- ・通常 (通常PDF版 : 3~5M) A4版では問題ない。
- ・HQ版 (ハイクオリティー版 : 30M前後) で問題発生。
- ・症状は、HQ版を印刷すると画像が多く貼ってるページの画像が正常に印刷されない (画像が尻切れトンボになる)
- ・ダウンロードしたHQ版PDFを見る分には問題ない、印刷だけが問題。

(原因)

・推測ですが、PowerPointで編集しPDF化していますが、そのPDFファイルをAcrobatReaderDCで印刷処理する際に、ソフトウェア内での画像ファイルの取り扱いに問題があるのでは、と思われます。(OSがWindows7のPCでは、AcrobatReaderDCをWin7の互換モードで起動すると問題なく印刷できます)

(対策)

- ・印刷はA4版PDFで行うか・・・
- ・HQ版で印刷する場合は以下の設定とする (添付画像参照)
- ①プリントボタンをクリック
- ②印刷の詳細設定をクリック
- ③詳細設定の「画像として印刷」にチェックを入れる
- ④OKをクリック
- ⑤印刷をクリックして印刷スタート
- ※印刷スタートする前にはプロパティから印刷の品質設定をしておくこと!



集合写真練習風景

何時もポーズが硬いと教育的指導を受けて練習中・・・やっぱダメかも?! 涙(笑)



大分天文協会

Astronomical Society of Oita